

令和4年度
(2022年度)

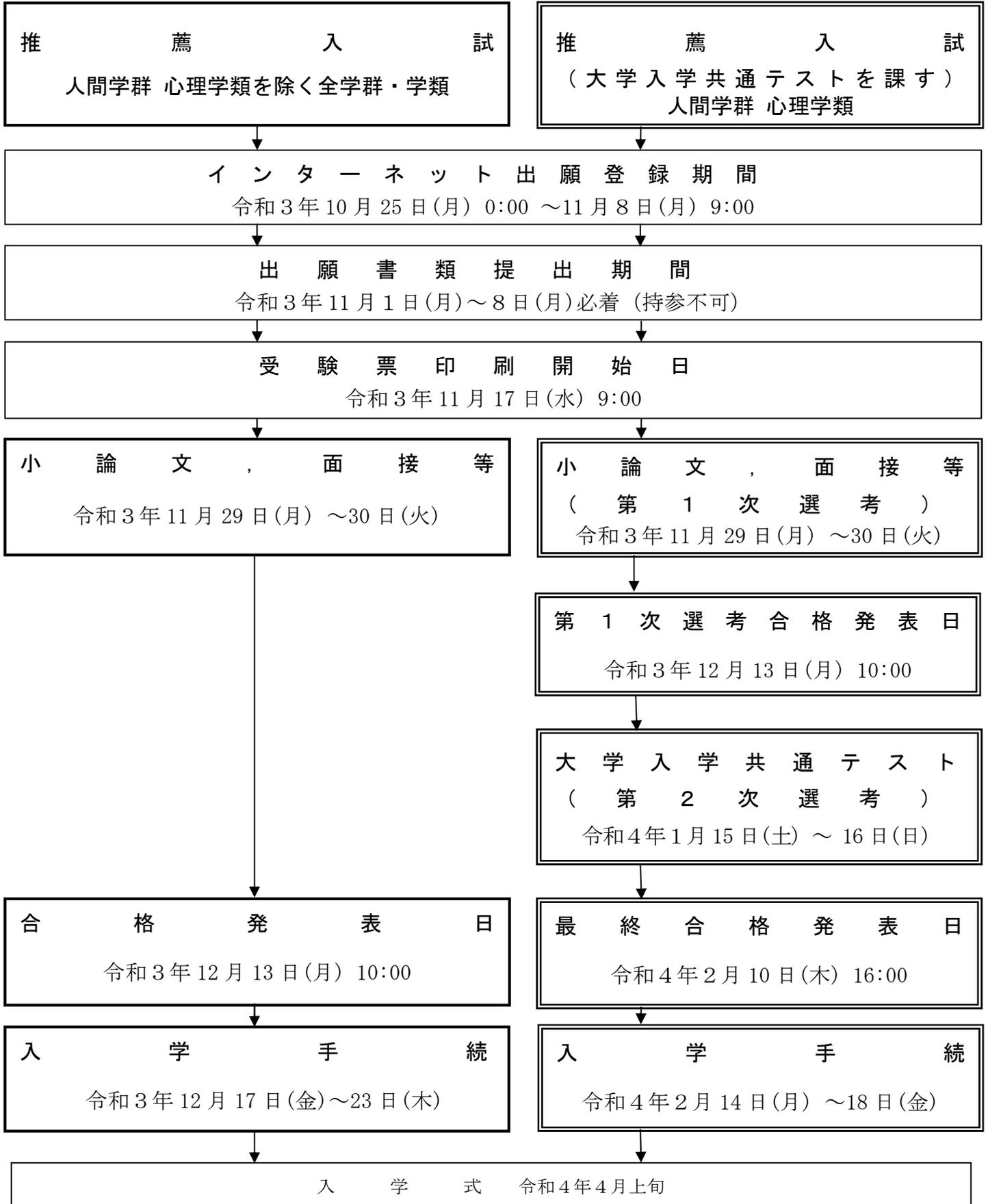
推薦入試
学生募集要項
(学校推薦型選抜)



筑波大学
University of Tsukuba

令和3年(2021年)9月

筑波大学入学者選抜日程の概要



<不測の事態が発生した場合の諸連絡>
災害等により不測の事態が発生した場合の本学入学者選抜に関する情報提供は、Web サイト及び携帯電話サイトにより行いますので、出願及び受験の直前には特に注意してください。
【筑波大学アドミッションセンターホームページ】 <https://ac.tsukuba.ac.jp/>
【携帯電話サイト】 <https://daigakuic.jp/tsukuba/>

目 次

ページ

| | | |
|------|--|----|
| I | 令和4年度入学者選抜における新型コロナウイルス感染症対策に伴う変更点及び特別措置について | i |
| II | 入学者選抜方針（アドミッション・ポリシー） | ii |
| III | 募集人員及び推薦入試実施要項 | 1 |
| 1 | 募集人員及び1校で推薦し得る数 | 1 |
| 2 | 出願資格 | 2 |
| 3 | 推薦要件 | 3 |
| 4 | 推薦入試（大学入学共通テストを課す） | 7 |
| 5 | 推薦入試（専門高校・総合学科特別入試） | 8 |
| 6 | 推薦入試（医学群医学類地域枠推薦） | 8 |
| 7 | 採点・評価基準 | 9 |
| 8 | 出願方法 | 12 |
| 9 | 障害等のある入学志願者の事前相談 | 17 |
| 10 | 選抜方法 | 17 |
| 11 | 試験日程・試験科目等 | 18 |
| 12 | 受験についての注意事項 | 19 |
| 13 | 合格発表等 | 21 |
| 14 | 入学手続き | 21 |
| 15 | 入学手続きに関する注意事項 | 22 |
| IV | 本学が指定するGCE Advanced レベル資格の科目数及び評価について | 23 |
| V | 入学試験に関する情報開示 | 24 |
| VI | 個人情報の取扱いについて | 24 |
| VII | 試験場配置図及び交通機関 | 25 |
| VIII | 令和5年度（2023年度）以降の筑波大学推薦入試について [予告] | 28 |

I 令和4年度入学者選抜における新型コロナウイルス感染症対策に伴う変更点及び特別措置について

令和4年度推薦入試における新型コロナウイルス感染症対策に伴う、変更点及び特別措置については、以下のとおりとします。変更後の内容等は、各掲載ページを参照してください。

なお、これらの変更点及び特別措置は、令和4年4月入学者対象の試験におけるものです。令和5年度以降の入学者選抜については、今後の状況を基に判断しますので、必ず当該年度の学生募集要項を確認してください。

本募集要項発表後、試験に関する重要なお知らせが生じた場合には、下記の本学Webサイト（学群入試案内ページ「お知らせ」）で発表しますので随時確認してください。

特に、出願時及び受験前には、必ず下記の本学Webサイトで最新情報を確認してください。

※学群入試案内「お知らせ」

<https://www.tsukuba.ac.jp/admission/undergrad-news/>

(1) 推薦要件の変更及び柔軟な解釈

- ① 教育学類、心理学類、医学類及び芸術専門学群の推薦要件(1)について、休校により通常の学習成績概評が活用できるか不明であることから、「調査書の学習成績概評A段階に属する者」に「又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者」を追加します。（3～6ページに掲載）
- ② 体育専門学群の推薦要件(1)について、抜群の技能を有する者の要件に「④ 都道府県大会で優勝、あるいは地域（関東、東海など）大会で入賞し、全国大会出場に相当する成績を収めた者」を追加します。（6ページに掲載）
- ③ 各学類・専門学群の推薦要件(2)については、中止となったコンテスト等が開催されていた場合、推薦要件(3)については、留学や国際的な活動が可能だった場合に、推薦要件を満たす優秀な成績を収められたあるいは顕著な功績を挙げられたと学校が判断できれば推薦することに差し支えないこととします。

(2) 調査書の取扱い

やむを得ず高等学校等を欠席した場合、特別活動の記録や指導上参考となる諸事項について十分な記載ができなかった場合でも、選考上不利にならないこととします。

Ⅱ 入学者選抜方針（アドミッション・ポリシー）

筑波大学は、自立して世界的に活躍できる人材を育成するため、本学の教育を受けるのに必要な基礎学力を有し、探究心旺盛で積極性・主体性に富む人材を受け入れます。

Our goal is to nurture talented people who can play active roles globally on their own accord. The University of Tsukuba accepts students of high academic and analytical ability, who are energetic and can take positive initiative in tackling diverse problems.

| 学群・学類名 | | 入 学 者 選 抜 方 針 |
|---------|------------|---|
| 人文・文化学群 | 人文学類 | 高等学校における学習の基礎をしっかりと身につけた志願者の中から、個性豊かな課題意識と向上心を持ち、人文系の学問への適応性を示す人材を選抜します。 |
| | 比較文化学類 | 文化・社会に強い関心と知識を持ち、それを自分自身の言葉で表現する能力を重視して選抜します。 |
| | 日本語・日本文化学類 | 高等学校における平素の学習や活動の成果などを基に、志願者の能力・適性を総合的に評価します。明確な問題意識と勉学への意欲を持ち、日本語や日本文化、さらに多文化共生社会の在り方に関する専門領域に対する適応性を示す人材を選抜します。 |
| 社会・国際学群 | 社会学類 | 高等学校における学習をしっかりと身につけたうえで、希望する主専攻分野（社会学、法学、政治学、経済学）に関連する分野について、明確な問題意識と優れた能力を有する者を評価します。 |
| | 国際総合学類 | 基礎学力とコミュニケーション能力に加えて、国際関係や国際開発への幅広い関心と強い学習意欲を有する人材を選抜します。 |
| 人間学群 | 教育学類 | 一定レベルの学力を有し、教育学について明確な目的意識と勉学への意欲を持ち、教育学類の教育に適応性があるかどうかを評価します。あるいは、教育学について明確な問題意識を持ち、その問題意識に関連した優れた活動実績を有するかどうかを評価します。 |
| | 心理学類 | 一定レベルの学力を有し、人間のこころと行動について明確な目的意識を持つ人材で、心理学類の教育に適応性があるかどうかを評価します。または、人間のこころと行動について、旺盛な知的好奇心を持ち、それに関連する自主研究や部活動、社会活動等において優れた実績を有するかどうかを評価します。 |
| | 障害科学類 | 一定レベル（高等学校の上位10%以内）の学力を有する者、または筑波大学の個別学力試験等に合格できる程度以上の学力を有する者で、障害科学について明確な目的意識と勉学への意欲を持ち、障害科学類の教育に適応性があるかどうかを評価します。または、障害科学についての問題意識を明確に持ち、それに関連する自主研究や部活動、社会的活動、並びに、障害のある学生としての学修活動上の工夫等において優れた実績を有するかどうかを評価します。そのほかに、外国語能力や問題解決能力等において国際的素養を有し、将来、障害科学の分野において国際的に活躍する資質を十分に有しているかどうかを評価します。 |
| 生命環境学群 | 生物学類 | 高等学校における学習及び課外活動の成果やそれらを通じて培われた生物界や生き物の仕組みに対する広い興味と理解度、そしてそれらを学ぶ意欲、さらには人間性も含めて総合的に評価します。 |
| | 生物資源学類 | 高等学校において優秀な成績を修め、あるいは課外活動などで優れた実績を有し、生物資源に関する学習意欲や適性、論理的表現力ならびに基礎学力と語学力を総合的に評価して選抜します。 * 専門高校・総合学科特別入試枠を含みます。 |
| | 地球学類 | 高等学校において高度な基礎学力を身につけた志願者から、地球環境や地球進化を学ぶ意欲と目的意識が明確であり、論理的に思考・表現する能力のある人材を選抜します。 |
| 理工学群 | 数学類 | 高等学校で優秀な成績を修めており、数学を学ぶ目的意識が明確であること、数学という学問に取り組む意欲等を総合的に評価します。 |
| | 物理学類 | 高等学校において優秀な成績を修めていることに加え、物理に関する高い関心と目的意識、学習に取り組む意欲等を総合的に評価します。 |
| | 化学類 | 高等学校において優秀な成績を修めており、化学に関する高い関心、目的意識、学習に取り組む意欲等を総合的に評価します。 |

| 学群・学類名 | | 入学者選抜方針 |
|--------|--|--|
| 理工学群 | 応用理工学類 | 高等学校において優秀な成績を修めていることに加え、自然科学の技術分野への応用を理解し、自然法則や物質、材料に関連する事柄について自分の興味や進路を適切に表現できる能力を持ち、かつ考察能力、分析能力を有する人材を選抜します。 |
| | 工学システム学類 | 高等学校在学中における、授業科目の学習と生徒会やスポーツなどの課外活動への取り組みの両立を評価するとともに、数学など工学系に必要な基礎学力と科学的思考姿勢と工学センス、並びに、思考力、判断力、コミュニケーション能力などを評価します。 |
| | 社会工学類 | 高等学校における学習習慣と、入学後の学習に必要な基礎学力を備えた志望者の中から、問題意識の高い人材を選抜します。現代社会の課題や動きについての関心度、論理的・数理的的分析力、自分の言葉で表現する能力を評価します。 |
| 情報学群 | 情報科学類 | 高等学校における学習状況と課外活動への取り組みとともに、情報科学や情報技術への関心、新しい技術を創造する意欲、自己表現能力、論理的に思考しその結果を的確に説明するコミュニケーション能力等を総合的に評価します。 |
| | 情報メディア創成学類 | 高等学校在学中の学習状況や基礎学力、課外活動への取り組みとともに、情報メディアの科学と技術に対する学習意欲や目的意識、自己表現能力、自己分析能力、コミュニケーション能力を総合的に評価します。 |
| | 知識情報・図書館学類 | 高等学校で学習する全教科がバランス良く優れていることに加え、論理的思考力、コミュニケーション能力、説得力、豊かな発想を評価します。 |
| 医学群 | 医学類 | 高等学校で学習する全教科がバランス良く優れている者の中から、医師となる資質が十分な人材を小論文、適性試験によって総合的に評価します。 【地域枠推薦入試】※ 上記に加え、将来茨城県の医療を担う強い意志を有する人材を、小論文、適性試験により総合的に評価します。 |
| | 看護学類 | 看護に関連する分野において必要とされる明確な問題意識と優れた洞察力について評価します。また、部活動、地域活動、社会活動等の実績について評価します。 |
| | 医療科学類 | 医療人を志向する強い動機と適性、人を愛する感性、社会貢献への熱意に加えて、医科学を学ぶために必要な基礎学力と主体的に行動する能力を総合的に評価します。 |
| 体育専門学群 | ひとつの運動種目に抜群の技能を有し、体育・スポーツ・健康の分野での活躍ができる人材を選抜するために、本学群における修学力とともに、運動技能を重点的に評価します。 | |
| 芸術専門学群 | 高等学校における学習や活動の成果に加え、芸術に関する資質、能力、意欲を評価します。 | |

※医学類地域枠推薦入試については、文部科学省に入学定員の増員を申請予定です。詳細は1ページを参照してください。

Ⅲ 募集人員及び推薦入試実施要項

出身学校長の推薦に基づき、書類審査、小論文、面接、適性試験及び実技検査等により合格者を決定します。さらに、人間学群心理学類は、大学入学共通テストを課します。その他の学類・専門学群は大学入学共通テストを課しません。

1 募集人員及び1校で推薦し得る数

| 学 群 ・ 学 類 名 | | 募 集 人 員 | 1 校 で 推 薦 し 得 る 数 | | 備 考 | |
|------------------|---------------------|--------------------|------------------------|-------------|--|--|
| | | | 推 薦 要 件 (1) 又 は (2) | 推 薦 要 件 (3) | | |
| 人 文 ・ 文 化 学 群 | 人 文 学 類 | 20名 | 2名 | 1名 | (注1)人間学群心理学類では、大学入学共通テストを課します。(7ページ参照) | |
| | 比 較 文 化 学 類 | 20名 | 2名 | 1名 | | |
| | 日 本 語 ・ 日 本 文 化 学 類 | 14名 | 2名 | 1名 | | |
| 社 会 ・ 国 際 学 群 | 社 会 学 類 | 16名 | 1名 | 1名 | | |
| | 国 際 総 合 学 類 | 20名 | 2名 | 1名 | | |
| 人 間 学 群 | 教 育 学 類 | 7名 | 1名 | 1名 | | |
| | 心 理 学 類 | (注1) 15名 | 1名 | 1名 | | |
| | 障 害 科 学 類 | 12名 | 2名 | 1名 | | |
| 生 命 環 境 学 群 | 生 物 学 類 | 20名 | 2名 | 1名 | | (注2) 専門高校・総合学科特別入試の募集人員(若干名)を含む。(8ページ参照) |
| | 生 物 資 源 学 類 | (注2) 27名 | 2名※① | 1名 | | |
| | 地 球 学 類 | 12名 | 2名 | 1名 | | |
| 理 工 学 群 | 数 学 類 | 8名 | 2名 | 1名 | | |
| | 物 理 学 類 | 15名 | 2名 | 1名 | | |
| | 化 学 類 | 13名 | 2名 | 1名 | | |
| | 応 用 理 工 学 類 | 16名 | 2名 | 1名 | | |
| | 工 学 シ ス テ ム 学 類 | 20名 | 2名 | 1名 | | |
| | 社 会 工 学 類 | 15名 | 2名 | 1名 | | |
| 情 報 学 群 | 情 報 科 学 類 | 10名 | 2名 | 1名 | | |
| | 情 報 メ デ ィ ア 創 成 学 類 | 8名 | 2名 | 1名 | | |
| | 知 識 情 報 ・ 図 書 館 学 類 | 40名 | 制限なし | 制限なし | | |
| 医 学 群 | 医 学 類 | 44名 (注3) 18名 ※④ | 1~*3名※② 制限なし | 1名 — | (注3)医学群医学類地域枠推薦対象(8ページ参照) | |
| | 看 護 学 類 | 25名 | 2名 | 1名 | | |
| | 医 療 科 学 類 | 12名 | 2名 | 1名 | | |
| | 体 育 専 門 学 群 | 88名 | 4名※③ | — | | |
| 芸 術 専 門 学 群 | 40名 | 4名 | — | | | |

- ・ ※① 専門高校・総合学科特別入試については、制限なしとします。
- ・ ※② *は、前年度までの過去3年間の筑波大学医学類入学者実績(数)が2名の場合は2名まで、3名以上の場合は3名までの推薦を可とします。なお、入学者実績(数)とは、「推薦入試」及び「個別学力検査等」の入学者数の合計とします。
また、該当する高等学校等には学生募集要項公表後(9月中旬頃)別途通知します。通知がない高等学校等は1名とします。
- ・ ※③ 同一競技種目は2名までとします。この場合、男子種目と女子種目は別種目として扱います。
なお、競技種目とは、「陸上競技」、「水泳」、「サッカー」、「柔道」、「スピードスケート」などを指します。
- ・ ※④ 医学群医学類地域枠推薦については、入学定員増の申請が認可された場合に実施します。表記の募集人員は認可申請時における予定人数であり、変更する場合があります。決定次第本学ホームページでお知らせします。
- ・ 推薦入試の入学手続者が募集人員に満たない場合には、個別学力検査等(前期日程)の募集人員によって、その人員を充足します。ただし、個別学力検査等(前期日程)で充足する欠員の数は、アドミッションセンター入試、国際バカロレア特別入試及び海外教育プログラム特別入試の入学手続者の数も含めて決定されます。

2 出願資格

【人文・文化学群日本語・日本文化学類及び情報学群知識情報・図書館学類】

次の(1)～(4)のいずれかに該当する者とします。

- (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を卒業した者又は令和4年3月までに卒業見込みの者
- (2) 国際バカロレア（I B）事業に参加している我が国所在の国際学校を卒業し、令和4年3月31日までにI B資格を取得した者及び取得見込みの者又は国際的な評価団体（WASC, CIS, ACSI）から教育活動等に係る認定を受けた我が国所在の教育施設に置かれる12年の課程を修了した者及び令和4年3月31日までに修了見込みの者
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は令和4年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を受けている者で、外国において学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修め、そのうち海外において在住国の正規の教育制度に基づく高等学校（注）に最終学年を含めて原則として2年以上継続して在学し、卒業（修了）したもの又は令和4年3月31日までに卒業（修了）見込みのもの

【上記2学類を除く学群・学類】

次の(1)～(5)のいずれかに該当する者とします。

- (1) 令和4年3月高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を卒業見込みの者
- (2) 留学（学校教育法施行規則第93条に該当する者）又は単位制による課程（単位制高等学校教育規程に該当する課程）により令和3年度途中で高等学校を卒業した者
- (3) 国際バカロレア（I B）事業に参加している我が国所在の国際学校を卒業し、令和3年度にI B資格を取得した者及び取得見込みの者又は国際的な評価団体（WASC, CIS, ACSI）から教育活動等に係る認定を受けた我が国所在の教育施設に置かれる12年の課程を令和3年4月1日から令和4年3月31日までに修了した者及び修了見込みの者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年4月1日から令和4年3月31日までに修了した者又は修了見込みの者
- (5) 日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を受けている者で、外国において学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修め、そのうち海外において在住国の正規の教育制度に基づく高等学校（注）に最終学年を含めて原則として2年以上継続して在学し、令和3年4月1日から令和4年3月31日までに卒業（修了）したもの又は卒業（修了）見込みのもの

(注) インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の課程修了の場合は、当該学校が在住国において正規の教育制度に基づく12年の課程として認められている学校であることが必要です。

なお、在住国において正規の教育制度に基づく教育課程として認められていない場合でも、次に掲げる資格等を有する者又は取得見込みの者は、出願資格があります。

- (a) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者（ディプロマを取得（見込み）であること）
- (b) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
- (c) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
- (d) 英国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE Advancedレベル資格）を有する者
※GCE Advancedレベル資格については、本学が指定する科目数や評価を満たしていることが必要です。詳細は23ページを参照ください。
- (e) 国際的な評価団体（WASC, CIS, ACSI）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者

なお、出願資格に不明な点がある場合には、出願前に本学教育推進部入試課へ問い合わせてください。

令和4年度推薦入試に出願した者は、令和4年度帰国生徒特別入試（体育専門学群・芸術専門学群）及び令和4年度国際バカロレア特別入試（11月募集）に出願することはできません。

3 推薦要件

学群・学類ごとに下表に示す推薦要件のいずれかに該当する者のうち、学校長が責任をもって推薦し、合格した場合には入学することを確約できるものとします。

なお、下表において、“個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者”とは、推薦校において、以前同校から筑波大学に同検査等により入学した者以上の学力（高校の学習成績）があると認められる者とします。

また、推薦要件(3)で志願する者は、本人の作成する「活動報告書」を提出してください。詳細は15ページの「(8) 出願書類等」の「10 活動報告書」を参照してください。

| 学群・学類名 | | 推 薦 要 件 |
|---------------------------------|---------------------|--|
| 人 文 ・ 化 学 群 | 人 文 学 類 | (1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 希望する主専攻分野（哲学、史学、考古学・民俗学、言語学）の内容に深い関心を有し、当該分野に関連する教科・科目において優れた能力を持つ者（その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付すること。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 |
| | 比 較 文 化 学 類 | (1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 文学・思想・地域研究・文化学など比較文化主専攻に関わる分野において、特に優れた能力を持つ者（その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 |
| | 日 本 語 ・ 日 本 文 化 学 類 | (1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 旺盛な知的好奇心や日本語・日本文化を学ぶにふさわしい明確な問題意識を持ち、専攻に関わる分野において特に優れた能力を持つ者（その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 |
| 社 会 ・ 国 際 学 群 | 社 会 学 類 | (1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 社会科学（社会学、法学、政治学、経済学）に関連する分野について、明確な問題意識と優れた能力を有する者（その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 |
| | 国 際 総 合 学 類 | (1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 国際関係及び国際開発の諸分野の現実的問題に強い関心を持ち、世界的視野からそれを分析しようとする意欲があり、国際的に活躍できる資質を有する者で、外国語に優れた能力を持つ者、又は理数系に優れた能力を持つ者（いずれもそれを証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、柔軟な発想と構想力をもち、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 |
| 人 間 学 群 | 教 育 学 類 | (1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 教育についての問題意識を明確に持ち、それに関連する自主研究や部活動、社会活動等において優れた実績を有する者（その実績を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、英語等の外国語の能力が抜群で、将来、教育学の分野における国際舞台で活躍する資質が十分と考えられる者 |

| 学群・学類名 | | 推 薦 要 件 |
|--------|--------|---|
| 人間学群 | 心理学類 | <p>(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>(2) 人間のこころと行動について、旺盛な知的好奇心を持ち、明確な問題意識を持っている者で、このことに関連する自主研究や部活動、社会活動等において優れた実績を有する者（その実績を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。）</p> <p>(3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、英語等の外国語の能力が抜群で、将来、心理学の分野における国際舞台で活躍する資質が十分と考えられる者</p> |
| | 障害科学類 | <p>(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>(2) 障害科学についての問題意識を明確に持ち、それに関連する自主研究や部活動、社会活動等において優れた実績を有する者（その実績を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。）</p> <p>(3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、英語等の外国語の能力が抜群で、将来、障害科学の分野における国際舞台で活躍する資質が十分と考えられる者</p> |
| 生命環境学群 | 生物学類 | <p>(1) 生物界や生き物の仕組みに関する広い興味を有し、調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>(2) 生物界や生き物の仕組みに関する広い興味を有し、生物や数学に優れた能力を持ち、かつ、生物の学習や実験に意欲的で、生物に関連する自主研究や国際生物学オリンピック（国内予選も含む。）等で実績を有する者（本要件の場合、生物の学習や実験に意欲であることを証明する客観的資料があれば添付すること。）</p> <p>(3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、生物界や生き物の仕組みに関する広い興味を有し、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> |
| | 生物資源学類 | <p>(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>(2) 理科、数学、英語のうち1教科に特に優れた能力を持ち、かつ、本学類に関連する部活動、地域活動、社会活動等において、実績を有する者（それを証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。これら諸活動の実績も評価の対象とします。）</p> <p>(3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> |
| | 地球学類 | <p>(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>(2) 数学、理科及び地理のうち、少なくとも1教科・科目において、優れた能力を持つ者、国際地学オリンピックもしくは国際地理オリンピックに日本代表として選抜された者、又は、いずれかの国内選考会で好成績を収めた者（日本地学オリンピック予選通過者もしくは科学地理オリンピック日本選手権の金メダルもしくは銀メダルの受賞者。）</p> <p>(3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、地球環境学や地球進化学に関する広い興味を有し、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> |
| 理工学群 | 数学類 | <p>(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>(2) 数学において、特に優れた能力を持つ者（その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。）</p> <p>(3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> |
| | 物理学類 | <p>(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>(2) 数学又は理科のいずれかにおいて、特に優れた能力を持つ者（その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。）</p> <p>(3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> |

| 学群・学類名 | | 推 薦 要 件 |
|-------------|--------------------------|--|
| 理 工 学 | 化 学 類 | <p>(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>(2) 化学において、特に優れた能力を持つ者（その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。）</p> <p>(3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> |
| | 応 用 理 工 学 類 | <p>(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>(2) 数学又は理科の能力が抜群で（例えば、その学習成績が推薦校の上位5%以内）、かつ、希望する主専攻分野に対して旺盛な好奇心を持つ者（それを証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。）</p> <p>(3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> |
| | 工学システム学類 | <p>(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>(2) 数学と理科の能力が卓越しており、論理的な思考力とその表現力に優れている者 工学の分野に強い関心を持ち、工学について熱意を持って勉強しようと考えている者（それを証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。）</p> <p>(3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有し、将来、国際舞台で活躍する資質が十分と考えられる者</p> |
| | 群 社 会 工 学 類 | <p>(1) 文系・理系を問わず、調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>(2) 数学及び英語に優れた能力を持ち、希望主専攻分野に関連する問題（社会経済システム主専攻では社会や経済に関する諸問題、経営工学主専攻では経営上の諸問題や経営計画における数学的手法、都市計画主専攻では地域・都市・環境に関する諸問題）について強い関心を持ち、その分野で一定の成果を挙げた者（それを証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。）</p> <p>(3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> |
| 報 学 | 情 報 科 学 類 | <p>(1) 情報科学や情報技術の分野に興味を持ち、調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>(2) 情報科学や情報技術の分野に強い関心を持ち、論理的思考力と表現力に優れ、豊かな発想ができる者（その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。）</p> <p>(3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> |
| | 情報メディア創成学類 | <p>(1) 情報メディアの科学と技術に興味を有し、調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>(2) 情報メディアの科学と技術に強い関心を持ち、論理的思考能力と表現力に優れ、豊かな発想ができる者（その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。）</p> <p>(3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> |
| | 群 知 識 情 報 ・ 図 書 館 学 類 | <p>(1) 調査書の学習成績全体の平均評定値が4.0以上の者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>(2) 知識や情報に対して明確な問題意識を持ち、それらに関する自主研究や部活動、社会活動において優れた実績を有する者（実績を証明する客観的資料があれば添付のこと。）</p> <p>(3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> |

| 学群・学類名 | | 推 薦 要 件 |
|-------------|-------------|---|
| 医 学 群 | 医 学 類 | (1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 全教科がバランスよく優れている上に、英語及び理数系特に数学、理科（物理学、化学、生物学のうち2科目）の能力が抜群で、医師となる資質が十分と考えられる者（それを証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、英語及び理数科目の能力が抜群で、将来、国際舞台で活躍する資質が十分であると考えられる者 |
| | 学 看 護 学 類 | (1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 看護に関連する分野について、明確な問題意識と優れた能力を有し、部活動、地域活動、社会活動等（看護に関するものである必要はない。）において、実績を有する者（その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 |
| | 群 医 療 科 学 類 | (1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 医療科学に関連する分野について、明確な問題意識と優れた能力を有し、特に数学、理科（物理、化学、生物のうち2科目）及び英語の能力に優れている者（その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、英語及び理数科目の能力が抜群で、将来、国際舞台で活躍する資質が十分であると考えられる者 |
| 体 育 専 門 学 群 | | (1) 一つの運動種目に抜群の技能を有し、かつ、本学群における十分な修学力を備え、将来健康・体育・スポーツの分野で活躍が期待できる者 なお、抜群の技能を有する者とは、次の要件のいずれかに該当するものをいいます。 ① 国際大会等に日本を代表して選抜された者 ② 全国的な大会等において16位以内の成績を収めた者 ③ ①②と同等程度の水準にあると認められる者 ④ 都道府県大会で優勝、あるいは地域（関東、東海など）大会で入賞し、全国大会出場に相当する成績を収めた者 (上記①～④を証明する客観的資料を必ず添付のこと。) |
| 芸 術 専 門 学 群 | | (1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 志望する芸術専門学群の領域で優れた資質又は能力を持つ者（客観的資料として作品写真等があれば適宜添付のこと。) |

外国の高等学校を卒業した者について

日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を受けている者で、外国の高等学校を卒業した者又は卒業見込みの者については、次の(ア)又は(イ)のいずれかに該当する者のうち、出身高等学校長が責任をもって推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者とします。

(ア) 各科目にわたり極めて優秀な成績を修めた者

(イ) 志願する学群・学類に関連する分野において特に優れた能力を持つ者

※ 「関連する分野」については、「筑波大学 入学案内」の各学群・学類のページを参考にしてください。

アドミッションセンターホームページ「入学案内」(<https://ac.tsukuba.ac.jp/examination/leaf>)

4 推薦入試（大学入学共通テストを課す）

| 実施学群・学類名 | 人間学群 心理学類 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------------------|--|------------|----|----|----|----|------|-----|------------|---|------------|----|--|-----|----|--|-----|-----|-----------------|-----|
| 募集人員 | 15名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 推薦要件 (出願者の資格 及び推薦要件 推薦し得る数) | 出願し得る数は1ページを参照してください。 出願資格は2ページを参照してください。 推薦要件は3～6ページを参照してください。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 選抜方法等 | <p>学校長の推薦に基づき、以下の第1次選考及び第2次選考により選抜します。</p> <p>[第1次選考] 小論文及び面接を課し、その結果と提出書類（調査書、志望の動機等）等を含めて総合的に判定し、合格者を決定します。 ※英語資格・検定試験について、B1（CEFR）相当以上のスコアを有する場合に総合評価に反映させます。</p> <p>[第2次選考] 第1次選考合格者を対象に、大学入学共通テストにおいて本学が指定した教科・科目の得点が個別学力検査等の合格者とほぼ同等の水準の学力と判断し得る者を最終合格者とします。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 出願期間 | インターネット出願登録期間 : 令和3年10月25日(月)～11月8日(月) 9:00 出願書類提出期間 : 令和3年11月1日(月)～8日(月) 必着(持参不可) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第1次選考日 | 令和3年11月29日(月)～30日(火) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第1次選考合格発表日 | 令和3年12月13日(月) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大学入学共通テスト成績請求票の提出期限 | 令和3年12月23日(木) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 最終合格者発表日 | 令和4年2月10日(木) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大学入学共通テストの利用教科・科目及び配点 | <p>令和4年度大学入学共通テストにおいて、本学が指定した教科・科目を1科目でも受験しなかった場合は、選考の対象としません。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">教科</th> <th style="width: 60%;">科目</th> <th style="width: 20%;">配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>『国語』</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>地理歴史 公民</td> <td>『世界史B』『日本史B』『地理B』 『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理, 政治・経済』</td> <td>から1 100</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>『数学Ⅰ・数学A』必須 『数学Ⅱ・数学B』『簿記・会計』『情報関係基礎』から1</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』から2 又は『物理』『化学』『生物』『地学』から1</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>『英語』（リスニングを含む。）</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">[5教科6～7科目] 合計 500点</p> <p>(注1) 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校でこれらの科目を履修した者（「情報関係基礎」においては、専門教育を主とする農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報及び福祉の8教科に設定されている情報に関する科目を履修した者）及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限ります。</p> <p>(注2) 「地理歴史、公民」「理科の基礎を付していない科目」について2科目を受験した場合は、受験した科目のうち第1解答科目の得点を採用します。</p> <p>(注3) 「理科の基礎を付した科目」2科目と「理科の基礎を付していない科目」1科目を受験した場合は、いずれかの上位得点を採用します。</p> <p>(注4) 英語はリーディングの成績（100点満点）の1.6倍（160点満点）とリスニングの成績（100点満点）の0.4倍（40点満点）を合計して用います（200点満点）。 また、外国語の成績（200点満点）を学類の配点（100点）に換算します。</p> | | 教科 | 科目 | 配点 | 国語 | 『国語』 | 100 | 地理歴史 公民 | 『世界史B』『日本史B』『地理B』 『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理, 政治・経済』 | から1 100 | 数学 | 『数学Ⅰ・数学A』必須 『数学Ⅱ・数学B』『簿記・会計』『情報関係基礎』から1 | 100 | 理科 | 『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』から2 又は『物理』『化学』『生物』『地学』から1 | 100 | 外国語 | 『英語』（リスニングを含む。） | 100 |
| 教科 | 科目 | 配点 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 国語 | 『国語』 | 100 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地理歴史 公民 | 『世界史B』『日本史B』『地理B』 『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理, 政治・経済』 | から1 100 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 数学 | 『数学Ⅰ・数学A』必須 『数学Ⅱ・数学B』『簿記・会計』『情報関係基礎』から1 | 100 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 理科 | 『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』から2 又は『物理』『化学』『生物』『地学』から1 | 100 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 外国語 | 『英語』（リスニングを含む。） | 100 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | <p>推薦入試（大学入学共通テストを課す）の合格者が募集人員に満たない場合には、その欠員分は個別学力検査等の募集人員に加えます。</p> <p>本学の推薦入試（大学入学共通テストを課す）に合格した者が、本学の個別学力検査等前期日程及び後期日程に出願していた場合、個別学力検査等の検定料については、本人の申し出により13,000円から手数料を引いた額を返還します。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

5 推薦入試（専門高校・総合学科特別入試）

| | |
|------------------------------|---|
| 実施学群・学類名 | 生命環境学群 生物資源学類 |
| 募集人員 | 若干名 |
| 出願要件 (出願者の資格及び推薦要件推薦し得る数) | <p>1. 出願資格及び推薦要件[推薦書の推薦要件(1)]にレ印を付けてください。] 令和4年3月高等学校(中等教育学校を含む。)卒業見込みの者で、次の(1)又は(2)のいずれかに該当し、かつ、学校長が責任をもって推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者として。</p> <p>(1) 農業、工業、商業、水産に関する専門高校を卒業見込みの者 (2) 総合学科を卒業見込みの者で、かつ、卒業に必要な単位のうち、農業、工業、商業、水産に関する教科・科目を25単位以上修得した者又は修得見込みの者</p> <p>2. 推薦し得る数 1校で推薦し得る数の制限はありません。</p> |
| 選抜方法等 | 専門高校又は総合学科を設置する高等学校(中等教育学校を含む。)の学校長の推薦に基づき、大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、小論文及び面接を課し、調査書等を含めて総合的に判定して、合格者を決定します。 |
| 出願期間 | インターネット出願登録期間 : 令和3年10月25日(月)～11月8日(月) 9:00 出願書類提出期間 : 令和3年11月1日(月)～8日(月) 必着(持参不可) |
| 選抜期日 | 令和3年11月29日(月)～30日(火) |
| 合格発表日 | 令和3年12月13日(月) |
| その他 | 普通科を併設する高等学校の場合、普通科からは2～6ページの「2 出願資格」及び「3 推薦要件」に基づき出願してください。 |

6 推薦入試（医学群医学類地域枠推薦）

| | |
|------------------------------|---|
| 実施学群・学類名 | 医学群 医学類 |
| 募集人員 | 18名(茨城県内対象) ※文部科学省に入学定員の増員を申請予定です。詳細は1ページを参照してください。 |
| 出願要件 (出願者の資格及び推薦要件推薦し得る数) | <p>1. 出願資格及び推薦要件[推薦書の推薦要件(1)]にレ印を付けてください。] 次の(1)～(5)の条件をすべて満たす者として。</p> <p>(1) 次の①、②のいずれかに該当する者 ① 茨城県内の高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)を令和4年3月卒業見込みの者又は卒業後1年以内の者 ② 保護者が出願期間の最終日において茨城県に3年以上居住している者で、県外の高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)を令和4年3月卒業見込みの者又は卒業後1年以内の者</p> <p>(2) 将来、茨城県の地域医療に貢献する熱意と能力を有し、卒業後に茨城県が指定する医療機関等で指定された期間従事できる者で、学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(3) 学習成績概評がA段階の者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>(4) 全教科がバランスよく優れている上に、英語、数学及び理科(物理学、化学、生物学のうち2科目)の能力が抜群で、医師となる資質が十分と考えられる者</p> <p>(5) 茨城県が実施する『令和4年度茨城県地域医療医師修学資金貸与制度』に応募する者 (詳細は、茨城県保健福祉部医療局医療人材課医師確保グループ(電話029-301-3191)に照会してください。)</p> <p>2. 推薦し得る数 1校で推薦し得る数の制限はありません。</p> |
| 選抜方法等 | 学校長の推薦に基づき、大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、小論文及び適性試験を課し、その結果と学校長が作成した推薦書・調査書、茨城県が作成した調査書及び志望の動機を総合的に判定して、合格者を決定します。 |
| 出願期間 | インターネット出願登録期間 : 令和3年10月25日(月)～11月8日(月) 9:00 出願書類提出期間 : 令和3年11月1日(月)～8日(月) 必着(持参不可) |
| 選抜期日 | 令和3年11月29日(月)～30日(火) |
| 合格発表日 | 令和3年12月13日(月) |
| その他 | <p>(1) この推薦入試(地域枠推薦)は、国の医師確保政策に基づき、茨城県と連携し、将来、茨城県内の地域医療を担う人材を育成することを目的として実施します。 この入試の入学者は、「茨城県地域医療医師修学資金」の貸与申請を行うこととなります。 また、卒業後、令和4年度キャリア形成プログラムの対象となり、茨城県知事の定める医療機関で9年間勤務(臨床研修期間を含む。)した場合に、返還が免除されます。 下記サイトに掲載された「茨城県地域医療医師修学資金貸与制度ガイドブック」、「茨城県修学生・修学生医師向けキャリア形成プログラム」及び「令和4年度地域医療医師修学資金貸与制度に係る募集要項」を熟読し、その内容を理解した上で応募してください。 <茨城県地域医療医師修学資金貸与制度(地域枠)のご案内> https://ibaraki-dl.jp/shuugakukin-chiikiwaku/</p> <p>(2) この推薦入試(地域枠推薦)以外の本学が実施する推薦入試との併願はできません。</p> <p>(3) 茨城県外の高等学校を卒業(見込み)の者は、保護者の住民票等(茨城県に3年以上居住していること及び本人との続柄がわかるもの)を提出してください。</p> <p>(4) 合格者の個人情報については、24ページの「VI 個人情報の取扱いについて」の他、事務処理上茨城県に情報提供します。</p> <p>(5) 地域枠推薦に関する問い合わせ先-医学医療エリア支援室学群教務(電話 029-853-3412) 選考の結果、合格者が募集人員に満たない場合には、その欠員分は、個別学力検査等(前期日程)において、地域枠(茨城県内対象)の募集人員に加えられます。</p> |

7 採点・評価基準

(1) 小論文及び面接等

| 学群・学類名 | | 小論文 | 面接等 |
|---------|------------|---|---|
| 人文・文化学群 | 人文学類 | 哲学、史学、考古学・民俗学、言語学などの人文系諸分野の学習に必要な基礎的能力を評価します。特に文章の読解力と自分の考えを的確にまとめる表現力などを評価します。 | 個別面接（志望専攻分野に対する適応性と理解力を評価します。推薦要件(2)の志願者については、志望専攻分野に関する能力について、その知識と理解力を評価します。） |
| | 比較文化学類 | 小論文(1)では英語の文章を、小論文(2)では日本語の文章を課し、理解力、思考力、表現力を総合的に評価します。 | グループ面接（主として人文・社会事象に関するテーマについて、少人数でディスカッションを行い、理解力・思考力や意欲・関心を総合的に評価します。） |
| | 日本語・日本文化学類 | 言葉や文化に関する小論文を課して、その理解力、洞察力を評価します。 | 個別面接（旺盛な知的好奇心を持ち、日本語や日本文化を学ぶにふさわしい基礎学力や明確な問題意識を持っているかどうかを評価します。） |
| 社会・国際学群 | 社会学類 | 社会科学に関する論理的思考力、理解力及び独創性を評価します。 | 個別面接（小論文の内容に関する設問や口頭試問を通して、問題意識、志望分野への意欲、社会に対する関心・理解力・基礎的知識・分析力・問題解決能力、表現力、高等学校での活動状況などを総合的に評価します。） |
| | 国際総合学類 | 英語の学力に加えて、国際関係及び国際開発の現実的な問題に対する独自の視点と分析力とともに文章表現力等を総合的に評価します。 | 個別面接（日本語及び英語による現代国際社会に関連した問題を中心とし、理解力とコミュニケーション能力を総合的に評価します。） |
| 人間学群 | 教育学類 | 教育学類の専門に関連する外国語（英語）を読ませ、外国語（英語）の読解力、論述における論旨の明確性、論理性等を評価します。 | 個別面接（志望動機の妥当性、関心の明確性、入学後の学習計画の適切性、高等学校での活動状況等を評価します。） |
| | 心理学類 | 心理学類の専門に関連する外国語（英語）を読ませ、外国語（英語）の読解力、論述における論旨の明確性、論理性等を評価します。 | 個別面接（志望動機の妥当性、関心の明確性、入学後の学習計画の適切性、高等学校での活動状況等を評価します。） |
| | 障害科学類 | 障害科学類の専門に関連する外国語（英語）を読ませ、外国語（英語）の読解力、論述における論旨の明確性、論理性等を評価します。 | 個別面接（志望動機の妥当性、関心の明確性、入学後の学習に対する意欲、高等学校での活動状況等を評価します。） |
| 生命環境学群 | 生物学類 | 生物学の問題に対する理解力、論理的思考力、表現力及び英語の学力を評価します。 | 個別面接（生物学に対する考え方及び理解力、特に生物界や生き物の仕組みに関する広い興味と理解度を評価します。） |
| | 生物資源学類 | 生物資源に対する理解力、論理的思考力、独創性、表現力及び英語力を総合的に評価します。 | 個別面接（将来の希望、専攻したい分野とそれに関連した知識と理解度、論理性、積極性等を総合的に評価します。） |
| | 地球学類 | 理解力、論理的思考力、表現力、地球学への関心度及び英語力を評価します。 | 個別面接（志望動機、論理性、積極性、問題発見・分析・解決能力を総合的に評価します。） |
| 理工学群 | 数学類 | 数学について数課題を出題し、基礎学力、学問への関心度、問題意識及び独創性などを評価します。 | 個別面接（高等学校での活動歴、志望動機、学習に必要な基礎学力、問題発見・分析・解決能力などを評価します。） |
| | 物理学類 | 物理学について数課題を出題し、基礎学力、論理的思考力及び表現力などを評価します。 教科書持ち込み可。※1 | 個別面接（高等学校での活動歴、志望動機、独創性、学習に必要な基礎学力、問題発見・分析・解決能力などを評価します。） |
| | 化学類 | 化学について数課題を出題し、基礎学力、学問への関心度、問題意識及び独創性などを評価します。 | 個別面接（高等学校での活動歴、志望動機、学習に必要な基礎学力、問題発見・分析・解決能力などを評価します。） |
| | 応用理工学類 | 自然科学を基礎とした工学の理解に必要な論理的思考力や表現力を判定するために、数学と英語を中心に評価します。 | 個別面接〔論理的思考力、表現力に加え、志望の動機など勉学に対する意欲を評価します。（自然現象などについての説明や議論を含みます。）〕 |
| | 工学システム学類 | 工学分野を横断的にとらえ、実践するのに必要な数学、理科、英語の基礎力に基づく論理的思考力、問題解決能力及び論述表現を評価します。 | 個別面接（勉学に対する主体的な意欲、本人の希望分野と本学類の教育内容との適合及び学類のカリキュラム履修に必要な基礎学力を評価します。） |
| | 社会工学類 | 現代社会の課題や動きに関連する設問に論述形式で解答させ、論理的・数理的な分析力、社会的な事象についての関心の程度、表現能力を評価します。 | 個別面接（小論文の内容に関する設問、志望動機に関する設問などにより、社会現象への関心、英語力や論理的・数理的思考能力など社会工学類での学習に必要な基礎学力を評価します。） |

| 学群・学類名 | | 小論文 | 面接等 |
|--------|------------|---|---|
| 情報学群 | 情報科学類 | 情報科学や情報技術の分野の学習に必要な学力、論理的思考能力、問題解決能力及び表現能力などを評価します。 | 個別面接（論理的思考能力、学習適格性、表現能力等を評価します。数学の口頭試問を含みます。） |
| | 情報メディア創成学類 | 情報メディアの科学と技術の学習に必要な学力、論理的思考能力、問題解決能力及び表現能力などを評価します。 | 個別面接（高等学校での活動歴、志望動機、論理的思考能力、学習適格性、表現能力などを評価します。数学の口頭試問を含みます。） |
| | 知識情報・図書館学類 | 知識情報・図書館学類での学習に必要な論理的思考力や理解力、表現力、広い視野からの発想などを評価します。 | ビブリオバトル(小グループによるビブリオバトルを行い、説得力、コミュニケーション能力などを総合的に評価します。) ※2 |
| 医学群 | 医学類 | 英語（読解力・作文力）、数学、理科（物理学、化学、生物学のうち2科目）の総合的学力を測定するとともに、論理的思考力、表現力を評価します。 | 適性試験（1）（筆記試験により、適応力や学習意欲、人間性などを評価します。） 適性試験（2）（個別面接により、医学を志向する動機、修学の継続力、適性、感性、社会的適応力など総合的な人間性について評価します。） |
| | 看護学類 | 小論文(1)では和文を、小論文(2)では英文を課し、問題意識、論理的思考力、文章表現力を総合的に評価します。 | 個別面接（看護学を志向する動機、適性、感性、社会的適応力等人間性について総合的に評価します。） |
| | 医療科学類 | 小論文(1)では英文を、小論文(2)では和文を課し、英語の総合的学力と数学・理科の基礎的学力を評価するとともに、論理的思考力、文章表現力を総合的に評価します。 | 個別面接（医療を志向する動機、適性、感性、社会的適応力等人間性について総合的に評価します。） |
| 体育専門学群 | | 保健体育・スポーツに関わる文章問題を出題し、解答選択形式と論述形式（600字程度）で解答させ、読解力、思考力、判断力及び文章表現力を総合的に評価します。 | 個別面接〔健康・体育・スポーツの専門家となるための一般的資質（意欲、自己の体育・スポーツに対する考え方、社会常識、リーダーシップ能力等）、専門種目についての独自の考え方や取り組み、思考力及び表現力等を評価します。〕 |
| 芸術専門学群 | | ————— | 個別面接（芸術に対する関心度や意欲、将来性、社会性をみます。実技検査の自己評価も問います。） |

※1 物理学類では「教科書持ち込み可」とします。

令和4年度推薦入試小論文において、物理学類では、文部科学省検定済の教科書を3冊まで持ち込み可能とします。これは小論文により知識の暗記能力ではなく、論理的思考力や表現力を評価するためです。また高等学校において過度の暗記から解放し、「なぜだろう、不思議だな」と思う探究心の育成を図ることができるようにするためです。

※2 知識情報・図書館学類のビブリオバトルによる面接について、詳細は学類ホームページの「入学情報＞推薦入試（ビブリオバトル方式）」（https://klis.tsukuba.ac.jp/biblio_battle.html）を参照してください。

(2) 実技検査

| 学群名 | 実技検査 |
|--------|---|
| 体育専門学群 | 当該種目に関する基礎及び応用技能について検査し、併せて運動特技として記された内容の妥当性を評価します。 本来の特技種目と異なる種目での受験を余儀なくされた受験者については、自己の特技種目に関して追加面接します。 また、上記以外の受験者に対しても、必要に応じて同様の面接を行う場合があります。 |
| 芸術専門学群 | 芸術に関する基礎的表現力、適性、感性、主体性等について評価します。 |

(3) 英語資格・検定試験

4技能（「聞く／Listening」，「話す／Speaking」，「読む／Reading」，「書く／Writing」）のスコアが掲載された有効期限内の合格証明書または成績証明書がある場合には，提出してください。（コピー不可）

3技能以下のスコアを提出した場合は評価に反映することができません。

なお，英語資格・検定試験の受験は出願資格ではありません。

| 学群・学類名 | 実施方法 |
|-------------------|-------------------------------------|
| 社会・国際学群 国際総合学類 | B2(CEFR)相当以上のスコアを有する場合に総合評価に反映させます。 |
| 医学群 医学類 | C1(CEFR)相当以上のスコアを有する場合に総合評価に反映させます。 |
| 上記学類を除いた学群・学類 | B1(CEFR)相当以上のスコアを有する場合に総合評価に反映させます。 |

各英語資格・検定試験とCEFRとの対照表

文部科学省（平成30年3月）

| CEFR | ケンブリッジ 英語検定 | 実用英語 技能検定 | GTEC | IELTS | TEAP | TEAP CBT | TOEFL iBT | TOEIC L&R/ TOEIC S&W ※ |
|------|-----------------|-------------------|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|----------------|------------------------------|
| C2 | 230 200 | | | 9.0 8.5 | | | | |
| C1 | 199 180 | 3299 2600 | 1400 1350 | 8.0 7.0 | 400 375 | 800 | 120 95 | 1990 1845 |
| B2 | 179 160 | 2599 2300 | 1349 1190 | 6.5 5.5 | 374 309 | 795 600 | 94 72 | 1840 1560 |
| B1 | 159 140 | 2299 1950 | 1189 960 | 5.0 4.0 | 308 225 | 595 420 | 71 42 | 1555 1150 |

※TOEIC L&R/TOEIC S&W については，TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアで判定します。

指定されたスコアを有する場合は，スコアが掲載された下記のいずれかの証明書の原本を提出してください。詳細については，15ページの「8 出願方法 (8) 出願書類等」を参照してください。

| | |
|----------------|---|
| ケンブリッジ英語検定 | 「認定証」(Certificate) 又は「結果ステートメント」(Statement of Results) |
| 実用英語技能検定 | 「合格証明書」(PROOF OF EIKEN CERTIFICATION) 又は「英検CSEスコア証明書」 ※従来型，新方式[CBT, S-CBT, S-Interview]いずれの試験も対象となります。 |
| GTEC | 「オフィシャルスコア証明書」(OFFICIAL SCORE CERTIFICATE) ※GTEC検定版及びGTEC CBTが対象となります。GTECアセスメント版は対象としません。 |
| IELTS | 「成績証明書」(Test Report Form) ※アカデミック・モジュールタイプのみ対象となります。 |
| TEAP, TEAP CBT | 「成績表」(OFFICIAL SCORE REPORT) |
| TOEFL iBT | 「受験者用控えスコアレポート」(Test Taker Score Report) ※TOEFL iBT Home Editionも対象とします。 スコアは，Test Dateスコアを活用します。MyBest™スコアは活用しません。 |
| TOEIC | 「公式認定証」(Official Score Certificate) ※TOEIC L&R及びTOEIC S&Wの両方のスコアが必要です。 |

8 出願方法

(1) 出願期間

インターネット出願登録期間及び検定料払込期間

令和3年10月25日(月) 0:00 ~ 11月8日(月) 9:00

出願に必要な書類の提出期間 (持参不可)

令和3年11月1日(月) ~ 8日(月) 必着

下記の「(5)出願に当たっての注意事項」を確認の上、「(6)入試に関する問い合わせ先」へ簡易書留・速達で郵送してください。

なお、出願期間を過ぎた場合は、いかなる理由があっても受理しませんので、郵送期間を十分考慮の上、送付してください。(本学への到着日を指定して郵送する方法もあります。詳しくは最寄りの郵便局へ問い合わせてください。)

また、出願書類は、出願用封筒に志願者ごとに封入し、推薦学校長が当該学校での志願者全員分を一括して別封筒に封入の上、当該封筒の表面に「推薦入試願書(〇名分)在中」と朱書し、必ず簡易書留・速達で郵送してください。

推薦人数が1名の場合は、当該学校の了解の上、出願用封筒にて志願者本人が郵送しても差し支えありません。

(2) 検定料等

①出願登録の際に払い込みが必要な金額

ア 検定料 17,000円

イ 入学試験成績送付料 404円(成績開示希望者のみ)

※以上の他に、払込手数料が必要となります。

②検定料の免除

本学が指定する災害の被災者に対する検定料の免除措置があります。詳しくは、本学ホームページ(<https://www.tsukuba.ac.jp/admission/undergrad-qualification/>)をご覧ください。

③検定料の返還

ア 検定料を払い込んだが出願をしなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合は、申し出てください。

イ 検定料を誤って二重に払い込んだ場合は、申し出てください。

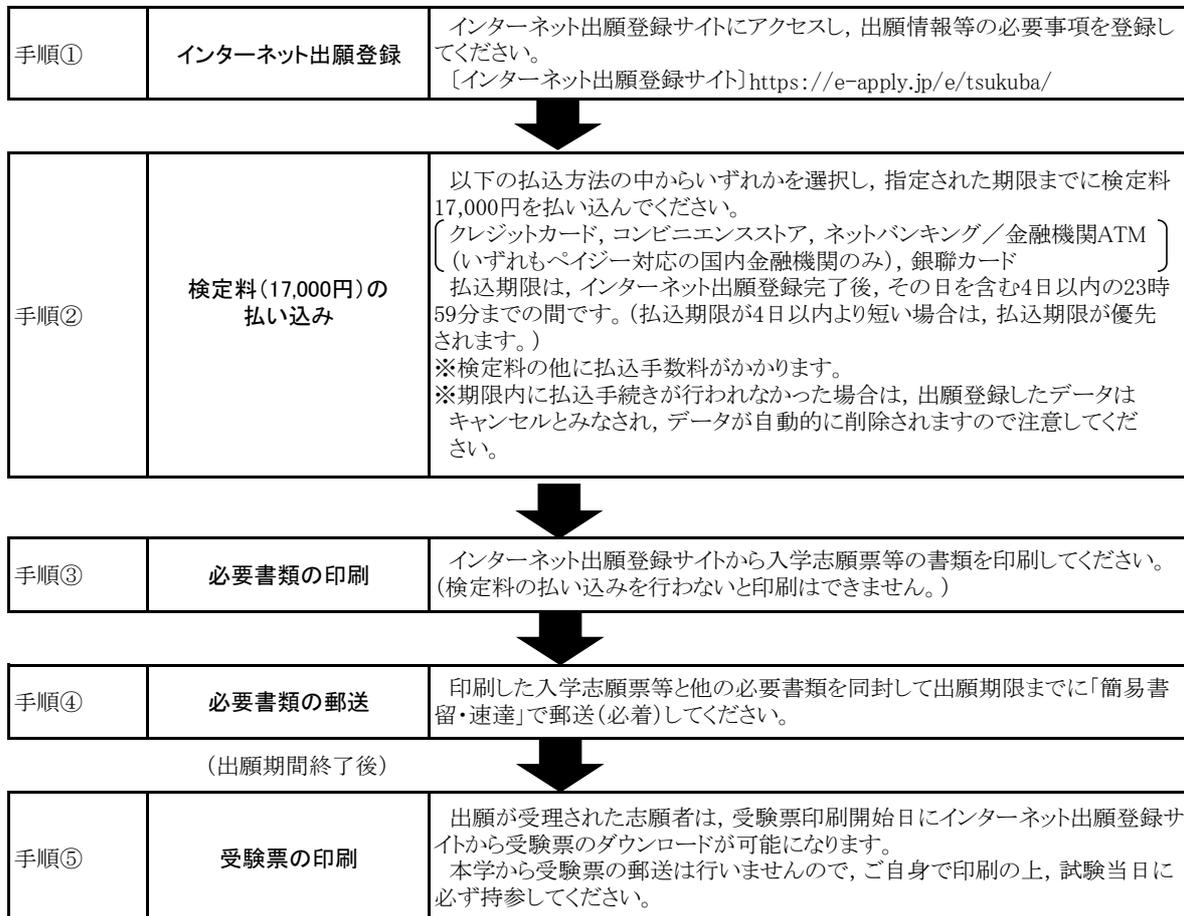
※上記ア、イに該当する者以外には、いかなる理由があっても払込済の検定料は返還しません。

※返還額は、検定料から手数料を差し引いた金額となります。

(3) 出願の流れ

以下の手順に従って出願を行ってください。インターネット出願登録だけでは出願は完了せず、全ての書類を出願期限内に到着するように郵送する必要があるため、注意してください。

出願期間内に到着した出願書類に不備が無く、かつ出願資格を有することが確認された時点で、出願手続きが完了します。



(4) 留意事項

- ア 国公立大学(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ)の推薦入試(大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて)への出願は、一つの大学・学部のみです。
※公立大学協会ホームページ(<http://www.kodaikyo.org/nyushi>)参照
- イ 本学のアドミッションセンター入試、国際科学オリンピック特別入試、国際バカロレア特別入試及び海外教育プログラム特別入試に合格した者は、推薦入試の合格者とはなりません。
- ウ 推薦入試に出願した者は、帰国生徒特別入試(体育専門学群・芸術専門学群)及び国際バカロレア特別入試(11月募集)に出願することはできません。

(5) 出願に当たっての注意事項

- ア 「インターネット出願」は、インターネット出願登録サイトでの登録(Web入力)だけでは出願手続完了とはなりません。検定料を期限内に払い込み、本学に出願書類等(14~16ページ参照)を出願期間内に簡易書留・速達で郵送する必要があります。
- イ 登録するメールアドレスは、出願者本人と直接連絡が取れるメールアドレスとしてください。
- ウ 提出書類が不足していたり、記載事項に不備がある場合には、出願書類を受理できませんので、事前によく確認してください。
- エ 出願後の志望学群・学類、実技検査種目・科目等の変更は認めません。
- オ 出願書類は、返却しません。
- カ 入学許可後、出願書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。この場合、既納の入学料は返還しません。
- キ 提出書類に必要な事項を記入する際は、油性の黒ボールペンを使用してください。

(6) 入試に関する問い合わせ先

学生募集に関し、不明な点等がある場合には、次まで問い合わせてください。

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1丁目1-1
筑波大学教育推進部入試課
電話 029-853-6007
月~金曜日の9:00~12:15, 13:15~17:00
[ただし、休日(国民の祝日、振替休日)を除く。]
※問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。

(7) インターネット出願サイトの操作方法・検定料払込方法に関する問い合わせ先

㈸ディスコ「学び・教育」サポートセンター
電話 0120-202-079
月~金曜日の10:00~18:00
[ただし、土・日・祝日を除く。]

インターネット出願サイトへのログインについて

インターネット出願では、検定料払込時、必要書類印刷時、受験票印刷時等に、インターネット出願サイトへのログインが必要になります。インターネット出願サイトからアクセスして、出願登録完了時に発行される「受付番号」、出願登録時に入力した「生年月日」及び「メールアドレス」を入力してください。

| 書 類 等 | 提出該当者 | 摘 要 |
|---------------------------|---------------|---|
| 3 調 査 書 | 全 員 | <p>(5) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められるアビトゥア資格を有する者は、次のアとイの書類をいずれも提出してください。</p> <p>ア 一般的大学入学資格証明書 (Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife)とこれに記載されている成績の写し</p> <p>イ 最終学校の修了(見込)証明書と成績証明書</p> <p>(6) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者は、次のアとイの書類をいずれも提出してください。</p> <p>ア バカロレア資格証書 (Diplôme du Baccalauréat de l'Enseignement du Second Degré)の写しとバカロレア資格試験成績証明書 (Relevé des Notes)</p> <p>イ 最終学校の修了(見込)証明書と成績証明書</p> <p>(7) 英国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格 (GCE Advancedレベル資格)を有する者は、次のアとイの書類をいずれも提出してください。</p> <p>ア GCE(General Certificate of Education)の成績評価証明書</p> <p>イ 最終学校の修了(見込)証明書と成績証明書</p> <p>※成績証明書及び卒業(修了)証明書が英語以外の外国文である場合には、日本語又は英語による翻訳文(当該高等学校又は公の機関が証明したもの)を併せて提出してください。</p> |
| 4 写 真 票 | 全 員 | <p>写真票は本人確認に使用します。インターネット出願登録サイトからA4サイズでカラー印刷してください。(入学志願票と同時に印刷できます。)</p> <p>出願登録の際に、顔写真のデータのアップロードが必要です。上半身・無帽・正面向きで出願する前3か月以内に撮影したものを事前に準備してください。アップロードした顔写真は、写真票に印刷されます。</p> |
| 5 体 育 実 技 検 査 票 | 体育専門学群志願者のみ | インターネット出願登録サイトからA4サイズでカラー印刷してください。 |
| 6 健康状態に関する調査票 | 体育専門学群志願者のみ | インターネット出願登録サイトからA4サイズでカラー印刷し、 所要事項の全項目を必ず記入してください。 |
| 7 運動特技に関する調査書 | 体育専門学群志願者のみ | 本学ホームページ「募集要項一覧」(https://www.tsukuba.ac.jp/admission/undergrad-list-guidebooks/)から本学所定様式をダウンロードの上、推薦学校長が作成し、厳封したものを提出してください。ダウンロードした様式に直接パソコンで入力することも可能です。 |
| 8 志 望 の 動 機 | 右記学類の志願者のみ | <p>本学ホームページ「募集要項一覧」(https://www.tsukuba.ac.jp/admission/undergrad-list-guidebooks/)から本学所定様式をダウンロードし、自筆の「志望の動機」を600字以内にまとめ、提出してください。</p> <p>(人文学類, 比較文化学類, 教育学類, 心理学類, 障害科学類, 生物学類, 生物資源学類, 地球学類, 数学類, 物理学類, 化学類, 知識情報・図書館学類, 医学類, 看護学類, 医療科学類)</p> |
| 9 芸術特技に関する作品写真 | 芸術専門学群志願者のみ | 推薦要件(1)と推薦要件(2)に関わらず、提示したい作品等(推薦要件(2)の客観的資料として提出する作品を含む。)がある場合には、A4サイズの用紙に作品写真を印刷又は貼り付けの上、左上1か所をホチキス等で綴じたものを提出してください。用紙には氏名を記入してください。 |
| 10 活 動 報 告 書 | 推薦要件(3)で志願者のみ | 留学・国際交流等の経歴や、研究活動の概要をA4サイズで5ページ程度にまとめ、志願者本人が作成してください。さらに、必要に応じて、内容の裏付けとなる資料を添付することも可とします。なお、「活動報告書(表紙)」を本学ホームページ「募集要項一覧」(https://www.tsukuba.ac.jp/admission/undergrad-list-guidebooks/)からダウンロードし、必要事項を記入して、活動報告書の表紙としてください。 |
| 11 英語資格・検定試験の合格証明書又は成績証明書 | 該当者のみ | <p>11ページに掲載されている指定されたスコアを有する場合には、下記検定試験からいずれか一つの書類(原本)を提出してください。証明書は、必ず4技能のスコアが掲載された有効期限内のものを提出してください。(受験時期は問いません。)</p> <p>提出された証明書は返却できませんので、やむを得ず原本の提出が難しい場合は、必ず出身学校長の公印を押印し、原本と相違ないことの証明を受けた合格証明書又は成績証明書の写しを提出してください。</p> <p>ケンブリッジ英語検定 「認定証」(Certificate)又は「結果ステートメント」(Statement of Results)</p> <p>実用英語技能検定 「合格証明書」(PROOF OF EIKEN CERTIFICATION)又は「英検CSEスコア証明書」</p> <p>※従来型, 新方式[CBT, S-CBT, S-Interview]いずれの試験も対象となります。</p> |

| 書 類 等 | 提出該当者 | 摘 要 |
|---------------------------------------|-------------------|---|
| 11 英語資格・検定試験の合格証明書又は成績証明書 | 該当者のみ | <p>GTEC 「オフィシャルスコア証明書」(OFFICIAL SCORE CERTIFICATE) ※GTEC検定版及びGTEC CBTが対象となります。GTECアセスメント版は対象としません。</p> <p>IELTS 「成績証明書」(Test Report Form) ※アカデミック・モジュールタイプのみ対象となります。</p> <p>TEAP, TEAP CBT 「成績表」(OFFICIAL SCORE REPORT)</p> <p>TOEFL iBT 「受験者用控えスコアレポート」(Test Taker Score Report) ※スコアは、Test Dateスコアを活用します。MyBest™スコアは活用しません。 TOEFL iBT Home Editionのスコア票を提出する場合で、出願期間までに原本が届かないと判断した場合には、下記の①、②両方の手続きを必ず行ってください。 ①ETSアカウントよりダウンロードしたPDF版を提出し、Test Taker Score Reportの原本が届き次第、提出してください。 ②TOEFL iBT Home Editionの受験時にOfficial Score ReportをETSから大学へ直送する手続きを行ってください。出願期間内までに大学にデータが届かない場合は出願書類として受け付けられません。(Institution (DI) コード:C238)</p> <p>TOEIC 「公式認定証」(Official Score Certificate) ※TOEIC L&R及びTOEIC S&Wの両方のスコアが必要です。</p> |
| 12 茨城県が作成した調査書 | 医学群医学類地域枠推薦志願者のみ | <p>茨城県が実施する『令和4年度茨城県地域医療医師修学資金貸与制度』に必ず事前に応募してから出願してください。 詳細は、茨城県保健福祉部医療局医療人材課医師確保グループ(電話029-301-3191)に照会してください。調査書は茨城県から筑波大学へ直接送付されます。</p> |
| 13 住 民 票 等 | 医学群医学類地域枠推薦志願者のみ | <p>茨城県外の高等学校を卒業(見込み)の者は、保護者の住民票等(茨城県に3年以上居住していること及び本人との続柄がわかるもの)を提出してください。</p> |
| 14 出 願 用 封 筒 ・ 大学あて名シート・出 願 書 類 確 認 票 | 全 員 | <p>出願用封筒(市販の角形2号封筒 縦33.2cm×横24cm)を用意して、出願登録完了後、大学あて名シートと出願書類確認票をインターネット出願登録サイトからA4サイズでカラー印刷し、大学あて名シートは封筒の表面に、出願書類確認票は封筒の裏面にしっかりと貼り付けてください。</p> |
| 15 在留カードの写し等(外国籍の者) | 日本国の永住許可を受けている者のみ | <p>在留カードの両面の写し(在留期間満了日前であれば外国人登録証明書でも可)又は、国籍及び在留資格を確認できるもの(パスポートの写し、在日公館の証明書等)を提出してください。(国籍及び在留資格を確認できるものは、日本語又は英語で作成されたものとし、これらの言語以外の場合は翻訳文を添付)</p> |

(注1) 改氏名により、現在の氏名が調査書や証明書の氏名と異なる場合は、戸籍抄本(写可)を添付してください。

(注2) 日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を受けている者で、外国の高等学校を卒業又は卒業見込みの者が、次の国家試験等の統一試験を受けている場合は、その成績評価証明書の写しを提出してください。

なお、統一試験の成績評価証明書を提出できない場合であっても、選考上不利になることはありません。

(1)College Boardが実施するSAT Reasoning Test及びSAT Subject Test

(2)Educational Testing Service (ETS) が実施するTOEFL

(3)上記(1)(2)に準じる統一学力試験や英語能力試験等

アメリカ合衆国以外については、統一学力試験制度等についての公式資料(英文以外は日本語訳を含む。)

(注3) 体育専門学群に出願する場合、出願書類の中で体格や疾病等に関する項目を記入する箇所があります。これらの情報は実技検査を安全に行うために使用します。

(9) 受験票のダウンロード及び印刷

出願が受理された志願者は、受験票印刷開始日にインターネット出願登録サイトから受験票のダウンロードが可能になります。

本学から受験票の郵送は行いませんので、ご自身で印刷の上、試験当日に必ず持参してください。

その他に持参するもの等については、19ページ「12 受験についての注意事項」を参照してください。

受験票の印刷開始 : 令和3年11月17日(水) 9:00 (時間は前後する場合があります。)

【受験票に関する注意事項】

ア 受験票を印刷後、記載内容を必ず確認してください。出願登録した内容と異なっている場合は、13ページ「(6) 入試に関する問い合わせ先」へ令和3年11月22日(月)までに連絡してください。

また、パソコン等に表示された受験番号と、印刷後の受験番号が一致していることを必ず確認してください。

イ 受験票印刷開始日以降に印刷ができない場合は、13ページ「(6) 入試に関する問い合わせ先」へ、令和3年11月22日(月)までに連絡してください。

ウ 指定された試験場を25～27ページ「Ⅶ 試験場配置図及び交通機関」で確認の上、受験してください。

エ インターネット出願登録した際の受付番号は、受験番号ではありません。

オ 試験当日、スマートフォン等による受験票の提示は認めません。必ず印刷した受験票を持参してください。

カ 受験票は、入学手続においても必要となりますので、大切に保管しておいてください。

9 障害等のある入学志願者の事前相談

本学に入学を志願する者で、受験上及び修学上合理的な配慮を必要とする者は、下記の期日までに必ず相談申込書等を提出してください。提出された書類により、関係学群・学類において協議の上、それぞれの障害等の種類・程度に応じた配慮内容を決定制し、お知らせします。

なお、協議にあたって必要な場合は、志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等に照会することがあります。

(1) 相談申込書等提出締切日

令和3年10月6日(水)

(2) 相談申込書の取得方法

相談申込書等提出日前のできるだけ早い時期に本学(13ページ「(6) 入試に関する問い合わせ先」)へ連絡の上、相談申込書を取り寄せてください。

(3) 提出書類

ア 筑波大学入学試験受験相談申込書(本学所定様式)

イ 障害の程度等を記載した医師の診断書(補助具を必要とするなどの所見を含みます。)

※締切日以降の提出は、受験上の配慮ができない場合があります。

※出願書類提出後、不慮の事故等により、合理的な配慮が必要となった者は、締切日にかかわらず速やかに相談してください。

10 選抜方法

入学志願者に対して、小論文(芸術専門学群を除く。)、面接、適性試験(医学群医学類)、実技検査(体育専門学群及び芸術専門学群)を課し、提出書類等を含めて総合的に判定して、合格者を決定します。

また、人間学群心理学類については第1次選考及び第2次選考により選抜します。第1次選考では小論文及び面接を課し、提出書類等を含めて総合的に判定して、合格者を決定します。また、第2次選考では第1次選考合格者を対象に、大学入学共通テストを課し、最終合格者を決定します。

11 試験日程・試験科目等

(1) 日程及び試験場

| 日時 | | 11月29日 (月) | | | | | | | | | | 11月30日 (火) | | | 試験場 |
|-----------------|------------|------------|-------|----------|-------|---------|---------|-------|-------|-------|---------|------------|----------------|-------|-----|
| | | 10:00 | 11:00 | 12:00 | 13:00 | 15:00 | | | 17:00 | 17:30 | 10:00 | 17:00 | | | |
| 学群・学類名 | | | 11:30 | 12:30 | 13:30 | 14:30 | 15:30 | 16:30 | | | 12:00 | 13:00 | | | |
| 人文 文学・ 学群 | 人文学類 | 小論文 | 休憩 | 面接 | | | | | | | | 第一試験場 | | | |
| | 比較文化学類 | 小論文(1) | 休憩 | 小論文(2) | | | | | | | 面接 | | | 第二試験場 | |
| | 日本語・日本文化学類 | 小論文 | | | | | | | 面接 | | | 第二試験場 | | | |
| 国際 社会学群 | 社会学類 | 小論文 | 休憩 | 面接 | | | | | | | | 第一試験場 | | | |
| | 国際総合学類 | 小論文 | 休憩 | 面接 | | | | | | | | 第三試験場 | | | |
| 人間 学群 | 教育学類 | 小論文 | | | | | | | 面接 | | | 第二試験場 | | | |
| | 心理学類 | 小論文 | | | | | | | 面接 | | | | | | |
| | 障害科学類 | 小論文 | | | | | | | 面接 | | | | | | |
| 生命 環境学群 | 生物学類 | 小論文 | | | | | | | 面接 | | | 第二試験場 | | | |
| | 生物資源学類 | 小論文 | | | | | | | 面接 | | | | | | |
| | 地球学類 | 小論文 | | | | | | | 面接 | | | 第一試験場 | | | |
| 理工 学群 | 数学類 | 小論文 | | | | | | | 面接 | | | 第一試験場 | | | |
| | 物理学類 | 小論文 | | | | | | | 面接 | | | | | | |
| | 化学類 | 小論文 | | | | | | | 面接 | | | | | | |
| | 応用理工学類 | 小論文 | | | | | | | 面接 | | | 第三試験場 | | | |
| | 工学システム学類 | 小論文 | | | | | | | 面接 | | | | | | |
| | 社会工学類 | 小論文 | | | | | | | 面接 | | | | | | |
| 情報 学群 | 情報科学類 | 小論文 | 休憩 | 面接 | | | | | | | | 第三試験場 | | | |
| | 情報メディア創成学類 | 小論文 | 休憩 | 面接 | | | | | | | | 春日試験場 | | | |
| | 知識情報・図書館学類 | 小論文 | 休憩 | 面接 | | | | | | | | 春日試験場 | | | |
| 医学 学群 | 医学類 | 小論文(1) | 休憩 | 小論文(2) | 休憩 | 適性試験(1) | 適性試験(2) | | | | | | 医学試験場 | | |
| | 看護学類 | 小論文(1) | 休憩 | 小論文(2) | | | | | | | 面接 | | | | |
| | 医療科学類 | 小論文(1) | 休憩 | 小論文(2) | | | | | | | 面接 | | | | |
| 体育専門学群 | 小論文 | 精密健診 | 休憩 | 実技検査 | | | | | | 面接 | 休憩(再健診) | 面接 | 体育・芸術試験場及び体育施設 | | |
| 芸術専門学群 | 実技検査(午前) | | 休憩 | 実技検査(午後) | | | | | | 面接 | | | 体育・芸術試験場 | | |

(注1) 各学群・学類の小論文、面接、適性試験及び実技検査の実施時間については、試験当日各試験場に掲示します。

(注2) 体育専門学群及び芸術専門学群の実技検査は、次ページの表のうちから、事前に選択した種目・科目について実施します。

(注3) 受験者は、試験日程に従って指定された各試験等を全て受験しなければなりません。指定された試験等を一つでも受験しなかった場合は欠席扱いとなり、選考の対象外となります。

(注4) やむを得ず当日の試験を欠席する場合は、推薦した出身学校を通じて筑波大学入試課に連絡をしてください。

【体育専門学群】

下表の実技検査種目の中から1種目を出願登録時に選択して受験してください。

| 種目記号 | 実技検査種目 | 種目記号 | 実技検査種目 | 種目記号 | 実技検査種目 | 種目記号 | 実技検査種目 |
|------|--------|------|----------|------|---------|------|--------|
| B | 体操競技 | G | ハンドボール | K | ラグビー | O | バドミントン |
| C | ダンス | H | バレーボール | L | 硬式野球 | P | 柔道 |
| D | 陸上競技 | I | バスケットボール | M | テニス(硬式) | Q | 剣道 |
| E | 水泳 | J | サッカー | N | 卓球 | R | 弓道 |

【芸術専門学群】

下表の実技検査科目のうち、午前に受験する実技検査科目をA1～2から1科目、午後に受験する実技検査科目をP1～5から1科目、出願登録時に選択して受験してください。

| 時間帯 | 科目記号 | 実技検査科目 |
|-------------|------|----------------|
| 午前 (2時間) | A1 | 論述 |
| | A2 | 鉛筆デッサン |
| 午後 (4時間) | P1 | 論述(鑑賞又はデザイン構想) |
| | P2 | デッサン(木炭又は鉛筆) |
| | P3 | 平面構成 |
| | P4 | 立体造形 |
| | P5 | 書 |

※ 芸術専門学群の実技検査の詳細は、芸術専門学群ホームページ「受験生の皆さんへ」(<https://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/school/6045/>)の入試情報のページを参照してください。

(2) 精密健診

体育専門学群では、実技検査を安全に実施するために、また、入学後の授業で実技実習が必修として課せられるために、「健康状態に関する調査票」により、必要と認められた者については、精密健診を行います。

なお、精密健診の結果により、本学が必要と認められた者は再健診を行います。該当者には試験当日、試験場において本人あて通知します。

12 受験についての注意事項(持参するもの、集合時間等)

(1) 試験当日に持参するもの

【各学群・学類受験者共通】

- ア 筑波大学受験票
- イ 筆記具(鉛筆[シャープペンシルも可]、消しゴム等)
- ウ 昼食
- エ 時計(計時機能だけのもの)
- オ マスク
- カ 健康観察記録表(令和4年度学群入試用)

上記のほかに、体育専門学群及び芸術専門学群の受験者は、次のものを用意してください。

【体育専門学群受験者】

- ア 受験する実技検査種目に適する服装・用具(例えば、水泳着、スパイクシューズ、グローブ、柔道着、竹刀等)
なお、陸上競技の実技検査では、スパイクシューズを使用してもかまいません。
- イ 体育館シューズ及びグラウンドシューズ(必ず持参)
- ウ I バスケットボール、L 硬式野球、M テニス(硬式)、N 卓球、O バドミントンの受験者は、ゼッケン(縦15cm×横20cmの白布に受験番号を記入したもの)を作成し、受験するときの服装の背部に縫い付けておいてください。
- エ 更衣室の使用については当日指示しますが、更衣後の衣服等を入れる袋やバッグ等は、各自で用意してください。

【芸術専門学群受験者】

| 時間帯 | 科目記号 | 実技検査科目 | 携行品 |
|-------------|------|--|--|
| 午前 (2時間) | A1 | 論述 | 鉛筆(シャープペンシルも可), 消しゴム, 鉛筆削り |
| | A2 | 鉛筆デッサン | 鉛筆, 消しゴム, 練り消しゴム, カッターナイフ(鉛筆削りも可) |
| 午後 (4時間) | ※P1 | 論述(鑑賞又はデザイン構想) | A[鑑賞]: 鉛筆(シャープペンシルも可), 消しゴム, 鉛筆削り |
| | | | B[デザイン構想]: 鉛筆(シャープペンシルも可), 色鉛筆(12色まで), 消しゴム, 練り消しゴム, カッターナイフ(鉛筆削りも可), コンパス, 直定規 |
| | P2 | デッサン(木炭又は鉛筆) | 木炭, 鉛筆, 消しゴム, 練り消しゴム, 新聞紙2~3枚(木炭紙下敷き用), カッターナイフ(鉛筆削りも可), 以下は任意(食パン, デスケール, はかり棒, サンドペーパー, 擦筆, ティッシュペーパー, ガーゼ) |
| | P3 | 平面構成 | 鉛筆(シャープペンシルも可), 消しゴム, 水差し, 直定規, 三角定規, コンパス, カッターナイフ(鉛筆削りも可), カラスロ, カラスロコンパス, 溝引き用の棒, マスキングテープ, 不透明水彩絵具(アクリルガッシュ, ポスターカラー等), 彩色用具(パレット又は絵具皿, 筆, 筆洗, ラップフィルム), 雑巾, 以下は任意(練り消しゴム, ガーゼ, ティッシュペーパー, ウェットティッシュ等) |
| | P4 | 立体造形 | (携行品なし) |
| P5 | 書 | 毛筆(漢字・仮名用, 大小各種), 墨, 硯, 文鎮, 水滴, 鉛筆, 赤サインペン | |

実技検査では、表の携行品以外の物品は使用できません。また、物品の貸し出しを行いません。(配付物を除く。)

※P1はA[鑑賞]とB[デザイン構想]から、どちらかを選択して解答してもらいます。詳しくは芸術専門学群ホームページ「受験生の皆さんへ」(<https://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/school/6045/>)で、2021年度入試(2020年実施)の参考問題と過去問題を参照してください。また、A[鑑賞]とB[デザイン構想]の携行品の違いに注意してください。

実技検査に関する問い合わせ先(体育専門学群, 芸術専門学群)
体育芸術エリア支援室学群教務(電話 029-853-2804)へ試験日の5日前(土・日・祝日を除く 9:00~12:00, 14:00~17:00)までにお問い合わせください。

(2) 次の指示に従って受験してください。

- ア 受験者は、試験日程に従って指定された各試験等を全て受験しなければなりません。
指定された試験等を一つでも受験しなかった場合は欠席扱いとなり、選考の対象外となります。
- イ 体育専門学群の精密健診は、本学保健管理センターで行います。
なお、精密健診の該当者は試験場において本人あて通知します。
また、精密健診の結果、再健診の必要がある者については、試験当日、試験場において本人あて通知します。
- ウ 受験者は、試験当日9:30までに各試験場に来てください。試験室への入室開始は9:00を予定しています。
なお、2日目については、各学群・学類の指示に従ってください。
- エ 「試験日程及び試験場」については、18ページを、「試験場配置図及び交通機関」については、25~27ページをそれぞれ参照してください。
- オ 筑波大学受験票は各自で印刷をし、必ず持参してください。
なお、受験票を忘れた場合は、試験当日の試験開始前に当該試験場の本部に申し出てください。
- カ 試験(面接及び実技検査を含む。)開始後30分を超えた遅刻者は、受験を認めません。
- キ 受験者は、試験開始15分前までに各自指定された試験室の所定の席に着席してください。
- ク 小論文においては、下敷きとあらゆる種類の計算機の使用を禁じます。
また、英文字や地図等が表示された衣服の着用及び故事・格言等が印刷された鉛筆等の使用を禁じます。
- ケ 机の上には、「受験票(机上の受験番号札の手前に置く。）」、「鉛筆(シャープペンシルも可)」, 「消しゴム」, 「鉛筆削り」, 「時計(計時機能だけのもの)」, 「眼鏡」, 「ハンカチ」, 「目薬」, 「ティッシュペーパー(袋又は箱から中身だけ取り出したもの)」以外のものは置かないでください。
ただし、実技検査受験の際は、監督者の指示に従ってください。
また、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類は、試験会場(実技検査会場を含む。)に入る前に必ずアラームを解除し、電源を切って、かばん等に入れておいてください。試験時間中に使用した場合は、不正行為とみなします。
- コ 解答用紙の所定欄に、学群・学類、氏名及び受験番号を楷書で丁寧に記入してください。未記入、判読不能なときは採点しません。
- サ 事前選択の実技検査種目・科目等については、事前選択した種目・科目以外の受験は認めません。
- シ 試験妨害行為又は不正行為があったときは、直ちに退室を命じ、その後の受験は認めません。

- ス 試験場内では、**昼食時を除き、常にマスクを正しく着用してください。**
 なお、写真票と受験者の顔の確認を行う際には、一時的にマスクを外すよう指示することがあります。
 また、昼食時はマスクを外しても構いませんが、**他者との会話、交流、接触は控えてください。**
- セ 試験時間中の途中退室は、**原則として認めません。**（発病又はトイレ等による一時退室を除く。）
- ソ 試験時間中にトイレ等のため席を立つときは、挙手をして監督者に申し出て、その指示に従ってください。
- タ 試験時間が終わったら、直ちに筆記具を置き、監督者の指示に従ってください。
- チ その他、監督者から指示があったときは、それに従ってください。
- ツ 受験者に対する指示は、当該試験場において掲示により行いますので、試験当日は試験場に設置された掲示板を必ず確認してください。
 なお、試験実施に係る掲示（試験室割振り、試験室、試験場本部の位置等）は、11月26日(金)の15:00頃から行います。
- テ 受験者の付添者は、試験場内に立ち入ることはご遠慮ください。
- ト 受験のための宿泊施設の斡旋は行いません。
- ナ 本学では可否の問い合わせ、電報依頼等の取扱いには応じません。
 試験場付近及び最寄りの駅周辺等で可否電報等を勧誘する者があっても、本学では一切関知しません。本学関係者を装って勧誘する例もありますが、本学とは無関係であり、本学は一切責任を負わないので十分注意してください。
- ニ 体育専門学群の試験において、実技検査のための準備運動は実技検査時間中に行います。実技検査会場以外での運動は危険ですので、決して行わないでください。
- ヌ この募集要項は入学手続きが完了するまで保管しておいてください。

13 合格発表等

(1) 第1次選考合格発表

人間学群心理学類 : 令和3年12月13日(月) 10:00

本人あて速達郵便で「第1次選考合格通知書」を発送します。

また、出身学校長あて速達郵便で「第1次選考結果通知書」を発送します。

情報提供の一環として、第1次選考合格者の受験番号を本学ホームページ及び携帯電話サイトに参考掲載します。

(2) 最終合格発表・通知

① 人間学群心理学類を除く学群・学類 : 令和3年12月13日(月) 10:00

② 人間学群心理学類 : 令和4年2月10日(木) 16:00

本人あて速達郵便で「合格通知書」を発送します。

なお、最終合格者には「入学書類」等を同封します。電話による可否の問い合わせには一切応じません。

また、出身学校長あて速達郵便で「選考結果通知書」を発送します。

情報提供の一環として、最終合格者の受験番号を本学ホームページ及び携帯電話サイトに参考掲載します。

(3) 掲載期間

① 人間学群心理学類を除く学群・学類（最終合格発表） : 令和3年12月13日(月)10:00～20日(月)12:00まで*

② 人間学群心理学類（第1次選考合格発表） : 令和3年12月13日(月)10:00～20日(月)12:00まで*

③ 人間学群心理学類（最終合格発表） : 令和4年2月10日(木)16:00～17日(木)12:00まで*

*掲載開始時間及び掲載終了時間は多少前後することがあります。

合格発表当日は、インターネット回線が混雑するためつながりにくい場合があります。

筑波大学アドミッションセンターホームページ (<https://ac.tsukuba.ac.jp/>)

携帯電話サイト (<https://daigakuje.jp/tsukuba/>)



筑波大学
アドミッションセンター



携帯電話
サイト

(4) 合格しなかった者の取扱い

推薦入試に合格しなかった者、また、人間学群心理学類第1次選考合格者は、最終不合格となった場合に備えて「前期日程」から一つ、「後期日程」から一つの合計二つの大学・学部に出願することができます。ただし、令和4年度大学入学共通テストの受験が必要です。

14 入学手続き(持参不可)

(1) 入学手続き期間

① 人間学群心理学類を除く学群・学類 : 令和3年12月17日(金)～23日(木)までの間に必着のこと。

② 人間学群心理学類 : 令和4年2月14日(月)～18日(金)までの間に必着のこと。

(2) 入学手続き方法

郵送により入学手続きを行ってください。

なお、入学手続きの詳細は、合格者に送付する「入学書類」で指示します。

(3) 入学手続きに必要なもの

ア 入学料 282,000円

※入学時に入学料の改定が行われた場合は、改定時から新たな納付金額が適用されます。

イ その他の書類等 「入学書類」で指示します。

(4) 入学後に必要な学生納付金

授業料 267,900円〔第1期分(4月～9月分)〕 } [年額 535,800円]
267,900円〔第2期分(10月～3月分)〕 }

※入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合は、改定時から新たな納付金額が適用されます。

※授業料については、入学後に口座振替により納付することになります。

(5) 入学料・授業料の免除及び徴収猶予について

経済的理由によって納付が困難であると認められる者その他やむを得ない事情があると認められる者に対し、入学料又は授業料の全部若しくは一部の免除又は徴収の猶予をする制度があります。

詳細については、筑波大学ホームページ「キャンパスライフ>奨学金・学生生活の支援>奨学金・修学支援」(<http://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/support-scholarship/>)をご確認ください。

入学料・授業料の免除等に関する問い合わせ先 : 学生部学生生活課(経済支援) 電話 029-853-2262
(平日 9:00～12:15, 13:15～17:00)

(6) 留意事項

ア 推薦入試の入学手続完了者が他に出席済みの前期日程及び後期日程を受験しても、その大学・学部の合格者とはなりません。

イ 国公立大学の一般入試における合格決定業務を円滑に行うため、推薦入試の合格及び入学手続きに関する個人情報(氏名、生年月日、その他の個人情報)が、大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されることとなります。

15 入学手続きに関する注意事項

(1) 合格通知書受領後、特別な事由により入学を辞退する場合は、以下の期日までに出身学校長から「推薦入試辞退願」を提出し、入学辞退の許可を得てください。

なお、入学辞退が許可された場合を除いては、本学及び他の国公立大学の個別学力検査等を受験しても合格者にはなりません。

① 人間学群心理学類を除く学群・学類 : 令和4年2月4日(金)まで

② 人間学群心理学類 : 令和4年2月18日(金)まで

(2) 合格者は、必ず入学又は入学辞退のいずれかの手続きをとってください。

IV 本学が指定するGCE Advancedレベル資格の科目数及び評価について

「推薦入試」の出願資格において、GCE Advancedレベル資格を有する者として本学へ出願する場合、下記の指定する科目数や評価を満たしていることが必要です。

(注) 科目が指定されている場合は、必ず出願前に教育推進部入試課まで問い合わせてください。

| 学 群 ・ 学 類 名 | | 科 目 数 及 び 評 価 |
|-------------|---------------------|--|
| 人文・文化学群 | 人 文 学 類 | GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上) ただし、「言語」に関する科目を含むものとする。 |
| | 比 較 文 化 学 類 | GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上) |
| | 日 本 語 ・ 日 本 文 化 学 類 | GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上) |
| 社会・国際学群 | 社 会 学 類 | GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上) |
| | 国 際 総 合 学 類 | GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上) ただし、「社会科学」「自然科学または数学」の2分野にわたって3科目以上であること。 |
| 人間学群 | 教 育 学 類 | GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上) |
| | 心 理 学 類 | |
| | 障 害 科 学 類 | |
| 生命環境学群 | 生 物 学 類 | GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上) |
| | 生 物 資 源 学 類 | |
| | 地 球 学 類 | |
| 理工学群 | 数 学 類 | GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上) ただし、「数学」及び「理科」に関する科目を含むものとする。 |
| | 物 理 学 類 | GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上) ただし、「数学」及び「理科」に関する科目を含むものとする。 |
| | 化 学 類 | GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上) ただし、「数学」1科目と「理科(物理, 化学, 生物)」のうち2科目を含むものとする。 |
| | 応 用 理 工 学 類 | GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上) ただし、「数学」及び「物理」に関する科目を含むものとする。 |
| | 工 学 シ ス テ ム 学 類 | GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上) ただし、「数学」及び「物理」を含むものとする。 |
| | 社 会 工 学 類 | GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上) |
| 情報学群 | 情 報 科 学 類 | GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上) |
| | 情 報 メ デ ィ ア 創 成 学 類 | |
| | 知 識 情 報 ・ 図 書 館 学 類 | |
| 医学群 | 医 学 類 | 「数学」「化学」「生物」「物理」から3科目がGCE Advancedレベルで合格していること、及び残りの1科目がGCE Advanced Subsidiaryレベルで合格していること。 |
| | 看 護 学 類 | GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上) |
| | 医 療 科 学 類 | GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上) ただし、「数学」「生物」「化学」に関する科目を含むものとする。 |
| 体 育 専 門 学 群 | | GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上) |
| 芸 術 専 門 学 群 | | GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上) ただし、「芸術」に関する科目を含むものとする。 |

V 入学試験に関する情報開示

令和4年度推薦入試に関する情報を、次のとおり開示します。

1 採点・評価のポイント等

- (1) 論述問題(小論文を含む。)、面接・口述試験、適性試験及び実技検査の一般的な採点・評価のポイント
- (2) 面接・口述試験の形式(個別かグループか。)
- (3) 教科・科目、実技検査及び面接等で特に重視するものがある場合はその旨
〔本学生募集要項に掲載しています。〕

2 個人成績等

- (1) 成績を点数で表している場合は、合格者については総合点、不合格者については総合点及び成績のランク区分(不合格者の成績を3段階に区分し、該当する段階)
- (2) 成績をA、B、C等の総合評価で表している場合は、合格者、不合格者いずれも当該段階別評価(総合評価)

| |
|--|
| 上記(1)~(2)の個人成績については、インターネット出願登録の際に「入学試験成績開示希望の有無」欄の「有」を選択した開示希望者に、令和4年4月中旬に郵送(簡易書留)通知します。(通知に伴う送料が必要です。) |
|--|
- (3) 調査書の客観的な記録部分を開示します。(ただし、「指導上参考となる諸事項」、「備考」等、教員が自由に記述した部分を除きます。)

| |
|---|
| 上記(3)については、請求に応じ、受験者本人に対し、本学教育推進部入試課で閲覧による開示をします。開示期間は、令和4年5月1日～6月30日(土・日曜日及び祝祭日を除く9:00~12:15, 13:15~16:00)までとします。なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、上記期間が変更になる場合があります。その際は、アドミッションセンターホームページでお知らせします。 また、開示請求にあたっては、必ず事前に電話で申し込みの上、当日は、本学の受験票等、本人であることを確認できるものを持参してください。 |
|---|

3 試験問題の正解例等

小論文等の試験問題、標準的な解答例又は出題意図を試験終了後(令和4年4月以降)に、本学ホームページ等で発表するとともに、請求に応じて、報道機関、出版社等に提供します。

4 情報開示に関する問い合わせ先

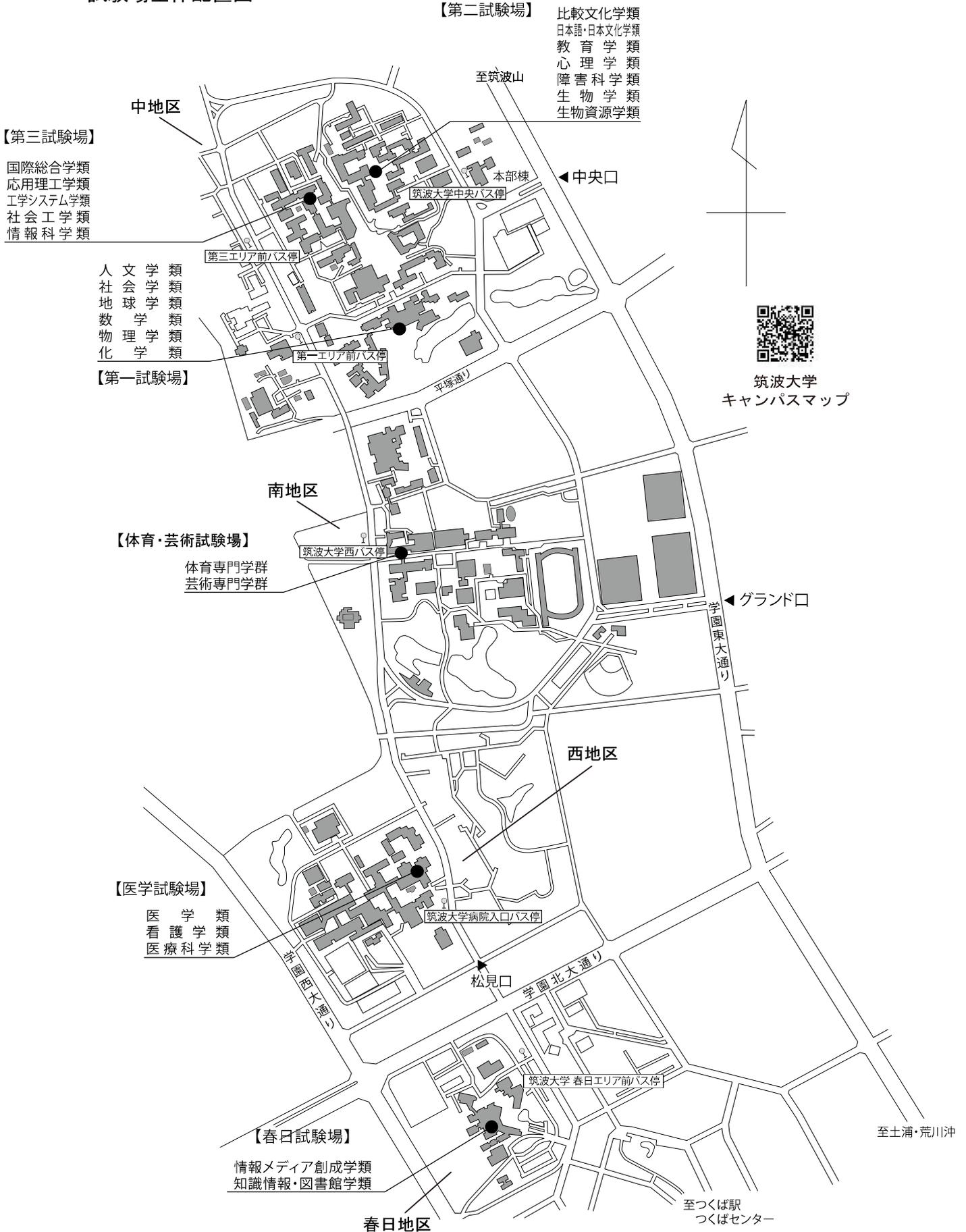
筑波大学教育推進部入試課 電話 029-853-6007(平日9:00~12:15, 13:15~17:00)

VI 個人情報の取扱いについて

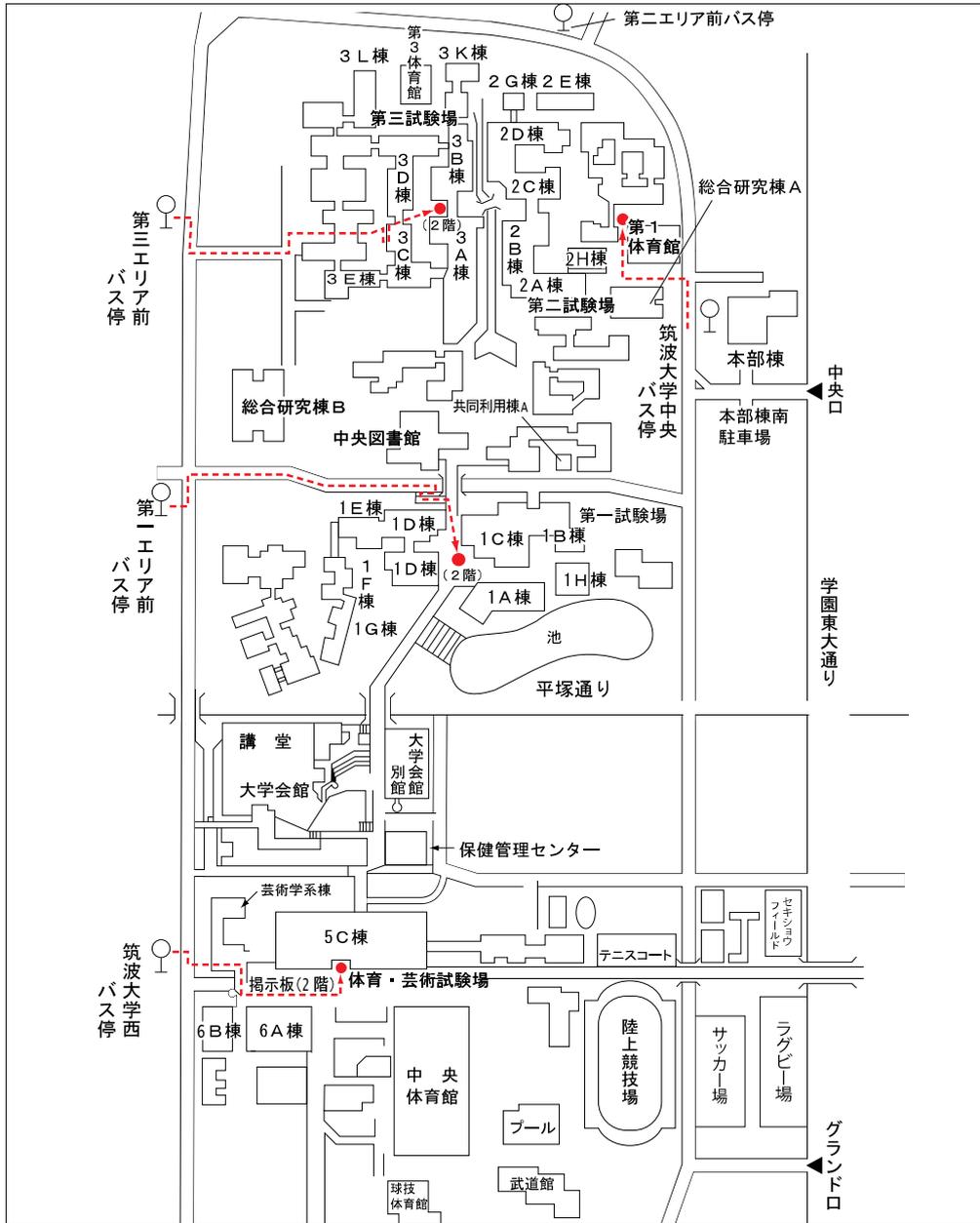
- (1) 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」を遵守するとともに、「国立大学法人筑波大学個人情報保護管理規則」に基づき、厳密に取り扱います。
- (2) 出願書類により取得した個人情報及び試験成績等については、入学者選抜に関する業務、入学手続き業務(学内行事案内等を含む。)及び入学者選抜方法等に関する調査・研究を行うために利用します。
なお、入学者にあつては、入学後の教務関係(修学指導等)、学生支援関係(授業料免除、奨学金申請及び健康管理等)及びこれらに付随する業務を行う場合にも利用します。
- (3) 新型コロナウイルス感染症の罹患や濃厚接触の疑いがある受験者の行動歴等の調査を行う際には、本学が保有する志願者情報を保健所等関係機関に提供する場合があります。
ただし、提供する個人情報は新型コロナウイルス感染拡大防止の目的以外には使用しません。

VII 試験場配置図及び交通機関

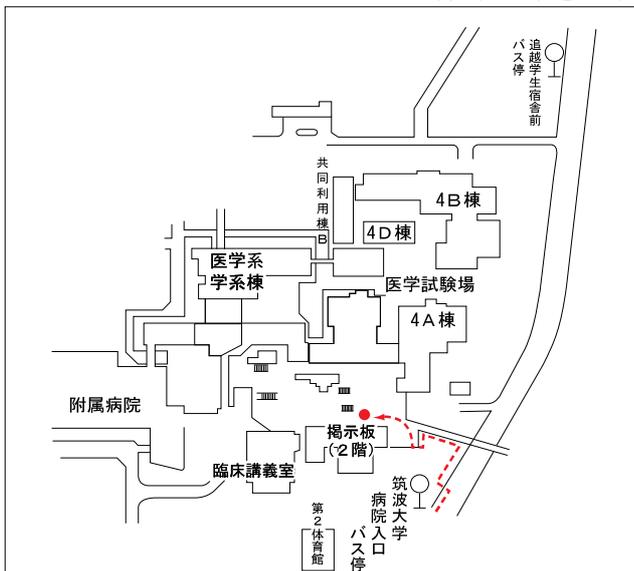
試験場全体配置図



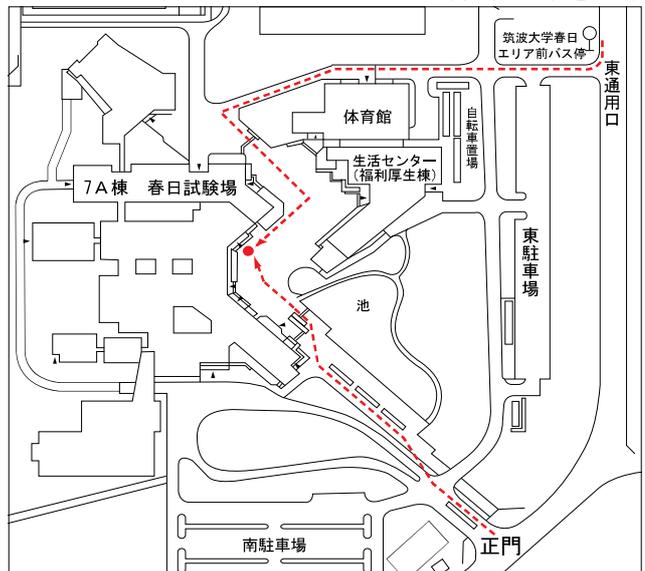
第一試験場，第二試験場，第三試験場，体育・芸術試験場周辺略図 ●は掲示板の位置を示す。



医学試験場周辺略図 ●は掲示板の位置を示す。



春日試験場周辺略図 ●は掲示板の位置を示す。



交通機関

試験場所在地：茨城県つくば市天王台1丁目1-1(春日試験場を除く試験場)
茨城県つくば市春日1丁目2(春日試験場)

- 主な交通機関：①つくばエクスプレス(TX)(終点つくば駅下車)(秋葉原～つくば間、快速45分)→関東鉄道バス(つくばセンターから「筑波大学循環」又は「筑波大学中央行」バス乗車約2～15分)→各試験場最寄りのバス停下車徒歩約2～5分
②JR常磐線(土浦駅下車)(上野～土浦間約70分)→関東鉄道バス(土浦駅から「筑波大学中央行」バス乗車約40～50分)→各試験場最寄りのバス停下車徒歩約2～5分
※「筑波大学中央行」は、土浦駅西口から発車します。
③春日試験場はTXつくば駅/つくばセンターから徒歩約10分

なお、上記①の路線バスについて、試験当日は運行本数が増便されます。

路線バス増便運行日：11月29日(月)、30日(火)

【関東鉄道ホームページ】<https://www.kantetsu.co.jp/bus/> (バス情報)

| 学 群 ・ 学 類 名 | | 試 験 場 | 試験場最寄りのバス停 |
|-------------|---------------------|--------------------------------|---|
| 人文・文化学群 | 人 文 学 類 | 第 一 試 験 場 | 『 第 一 エ リ ア 前 』 |
| | 比 較 文 化 学 類 | 第 二 試 験 場 | 『 筑 波 大 学 中 央 』 『 第 二 エ リ ア 前 』で降りないこと |
| | 日 本 語 ・ 日 本 文 化 学 類 | | |
| 社会・国際学群 | 社 会 学 類 | 第 一 試 験 場 | 『 第 一 エ リ ア 前 』 |
| | 国 際 総 合 学 類 | 第 三 試 験 場 | 『 第 三 エ リ ア 前 』 |
| 人 間 学 群 | 教 育 学 類 | 第 二 試 験 場 | 『 筑 波 大 学 中 央 』 『 第 二 エ リ ア 前 』で降りないこと |
| | 心 理 学 類 | | |
| | 障 害 科 学 類 | | |
| 生命環境学群 | 生 物 学 類 | 第 二 試 験 場 | 『 筑 波 大 学 中 央 』 『 第 二 エ リ ア 前 』で降りないこと |
| | 生 物 資 源 学 類 | | |
| | 地 球 学 類 | 第 一 試 験 場 | 『 第 一 エ リ ア 前 』 |
| 理 工 学 群 | 数 学 類 | 第 一 試 験 場 | 『 第 一 エ リ ア 前 』 |
| | 物 理 学 類 | | |
| | 化 学 類 | | |
| | 応 用 理 工 学 類 | 第 三 試 験 場 | 『 第 三 エ リ ア 前 』 |
| | 工 学 シ ス テ ム 学 類 | | |
| 社 会 工 学 類 | | | |
| 情 報 学 群 | 情 報 科 学 類 | 第 三 試 験 場 | 『 第 三 エ リ ア 前 』 |
| | 情 報 メ デ ィ ア 創 成 学 類 | 春 日 試 験 場 | 『 筑 波 大 学 春 日 エ リ ア 前 』 又は TXつくば駅A1出口から徒歩約10分 |
| | 知 識 情 報 ・ 図 書 館 学 類 | | |
| 医 学 群 | 医 学 類 | 医 学 試 験 場 | 『 筑 波 大 学 病 院 入 口 』 |
| | 看 護 学 類 | | |
| | 医 療 科 学 類 | | |
| 体 育 専 門 学 群 | | 体 育 ・ 芸 術 試 験 場 及 び 体 育 施 設 | 『 筑 波 大 学 西 』 |
| 芸 術 専 門 学 群 | | 体 育 ・ 芸 術 試 験 場 | 『 筑 波 大 学 西 』 |

VIII 令和5年度(2023年度)以降の筑波大学推薦入試について〔予告〕

理工学群物理学類の試験時間・方法を変更します。

理工学群物理学類では、推薦入試において小論文と面接による選抜を行っていますが、小論文の試験時間及び実施方法について、以下のとおり変更します。

(変更前)

| | |
|----------|-------------------------|
| 小論文の試験時間 | 120分 |
| 小論文の実施方法 | 文部科学省検定済みの教科書3冊まで持ち込み可能 |

(変更後)

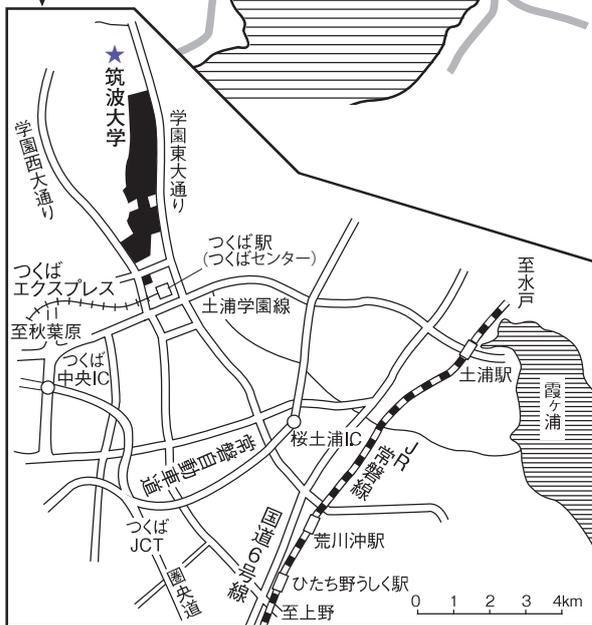
| | |
|----------|-------------|
| 小論文の試験時間 | 90分 |
| 小論文の実施方法 | 教科書類の持ち込み不可 |

本募集要項への記載以外の令和5年度以降の筑波大学入学者選抜の詳細な内容については、本学ホームページ「学群入試案内 お知らせ」で随時お知らせしますので、確認してください。

筑波大学ホームページ > 入試情報 > 学群入試案内 > お知らせ
(<https://www.tsukuba.ac.jp/admission/undergrad-news/>)



筑波大学の位置



〔主な交通機関〕

- ① つくばエクスプレス (TX) (終点つくば駅下車)
(秋葉原～つくば間、快速45分)
→ 関東鉄道バス (つくばセンターから「筑波大学循環」又は「筑波大学中央行」バス乗車約2～15分)
→ 各試験場最寄りのバス停下車徒歩約2～5分
- ② JR常磐線 (土浦駅下車) (上野～土浦間約70分)
→ 関東鉄道バス (土浦駅から「筑波大学中央行」バス乗車約40～50分)
→ 各試験場最寄りのバス停下車徒歩約2～5分
※「筑波大学中央行」は、土浦駅西口から発車します。
- ③ 春日試験場はTXつくば駅/つくばセンターから徒歩約10分



筑波大学キャンパスマップはこちら→

(<https://www.tsukuba.ac.jp/access/tsukuba-campus/index.html>)

筑波大学教育推進部入試課

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1丁目1-1

電話 029-853-6007

FAX 029-853-6008

※ 問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。